



あれから
魔物を狩り続け
時に孕まされ

「転生」を繰り返した……

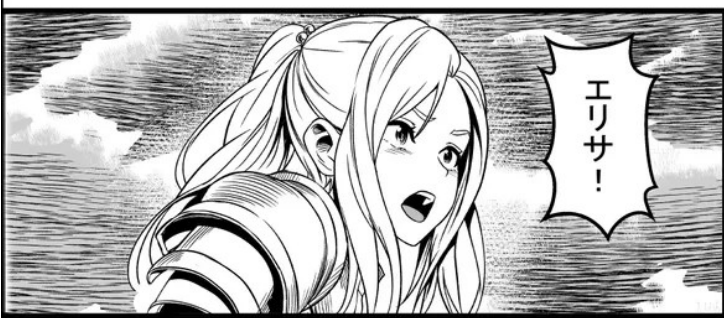
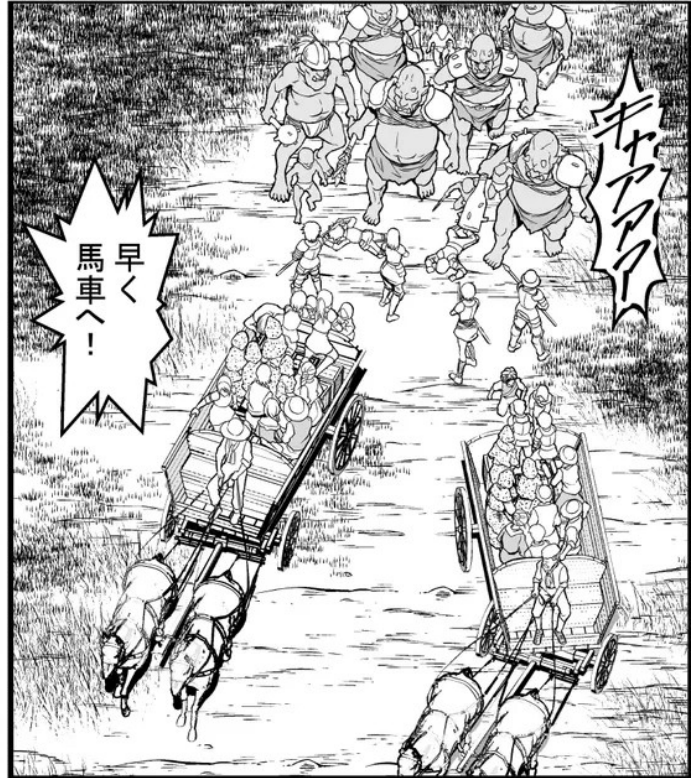
その度に私は強くなり
心は魔に蝕まれた……

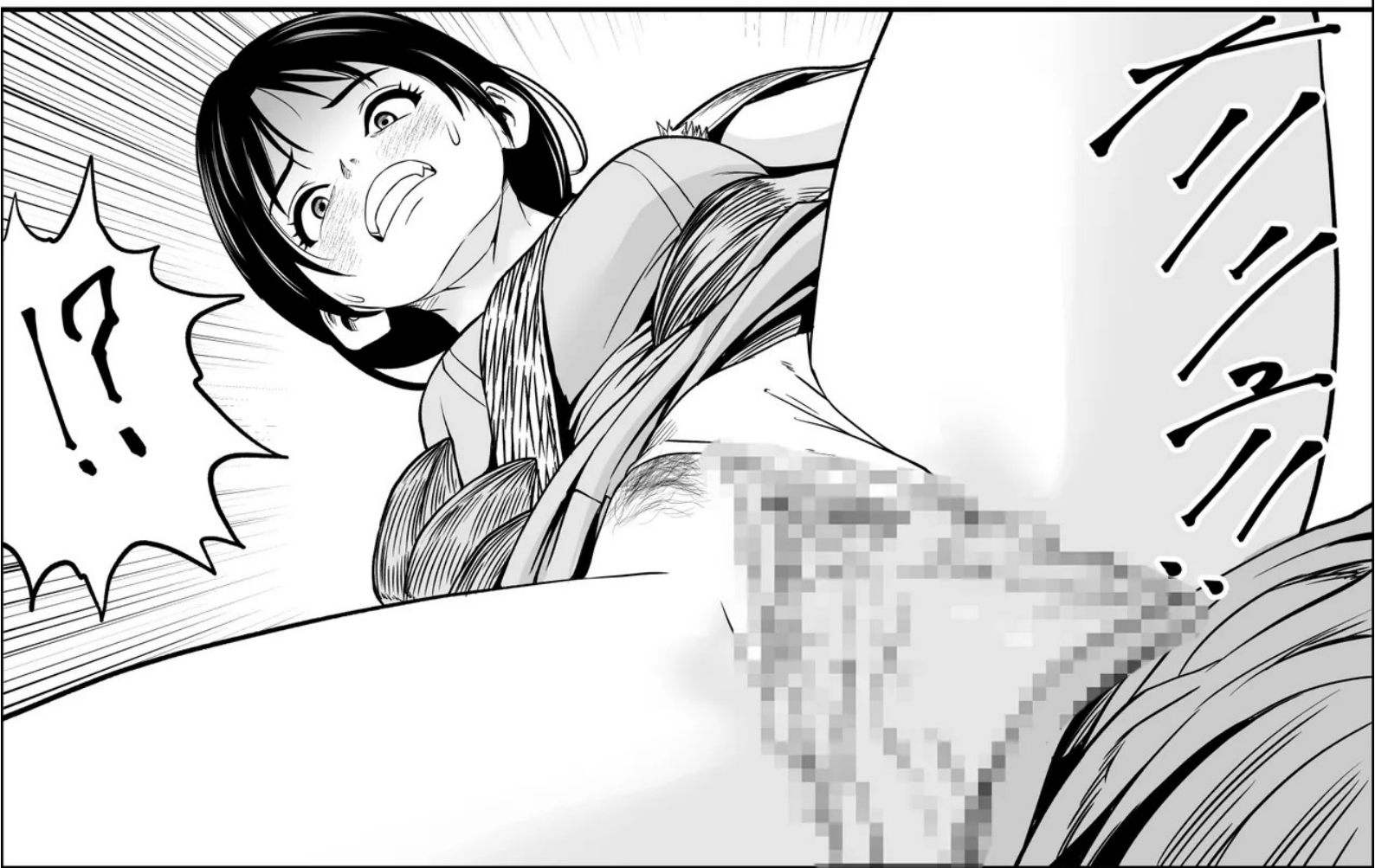
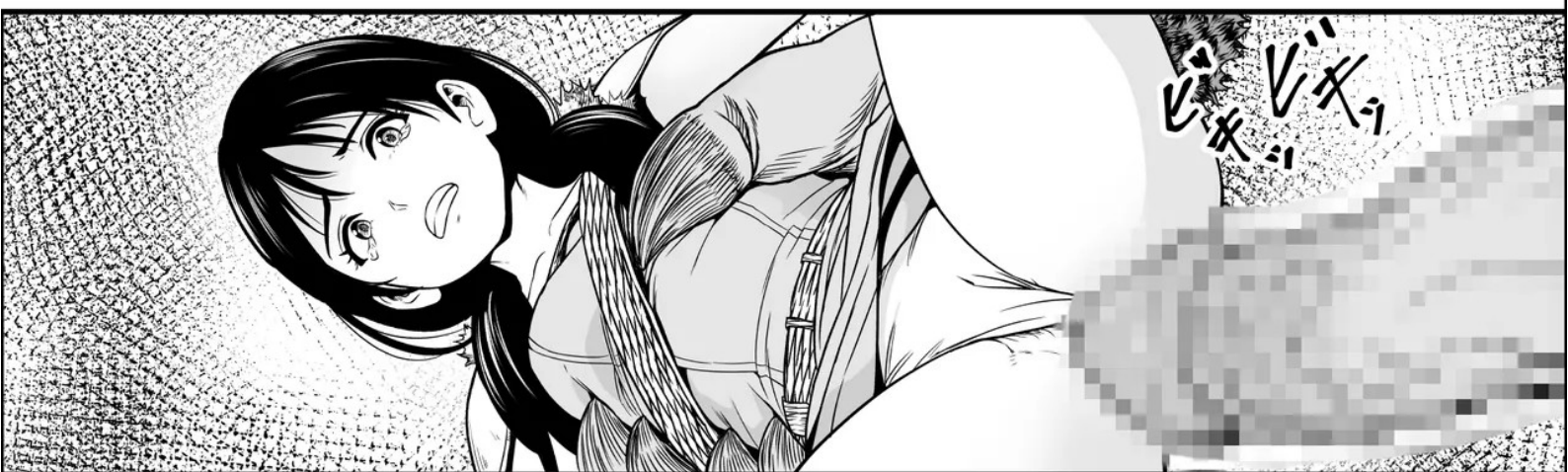
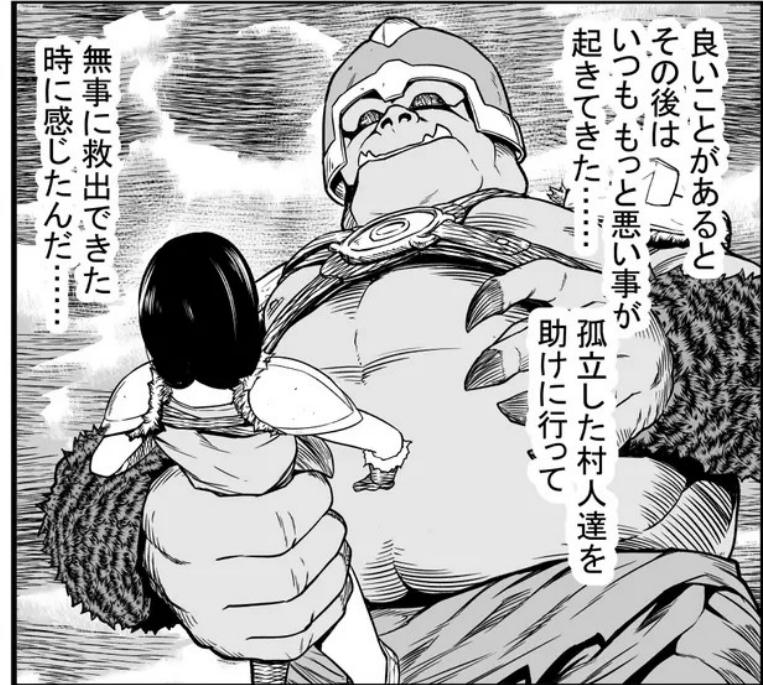
エリシエルは
言っていた

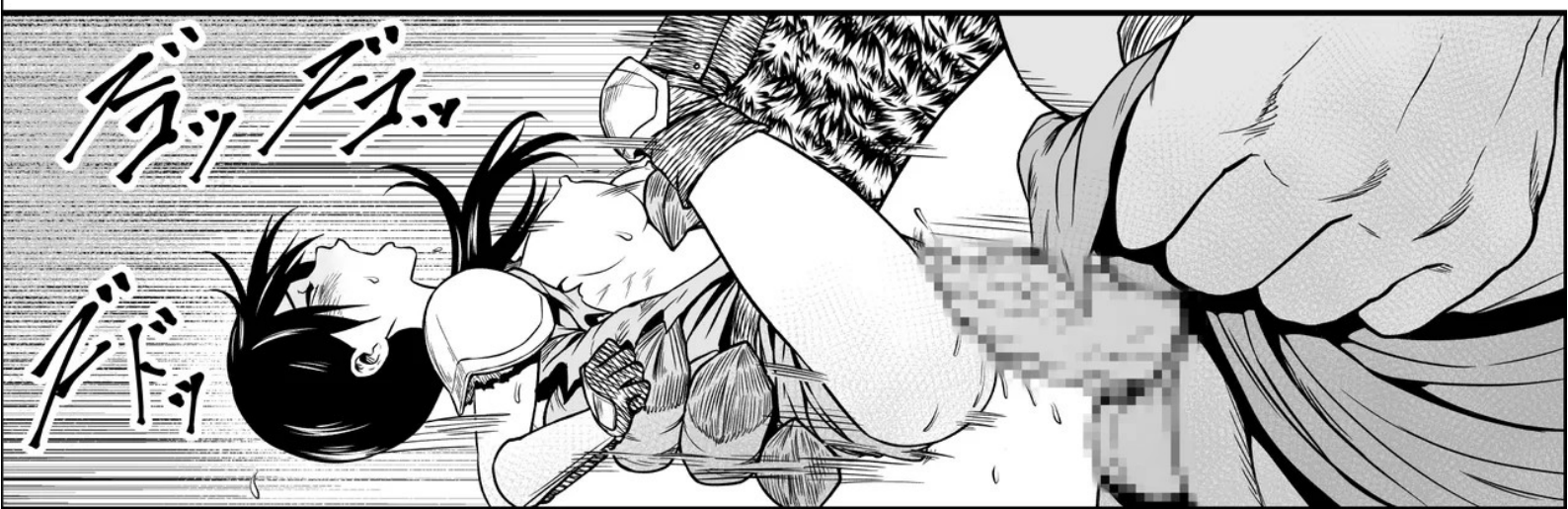
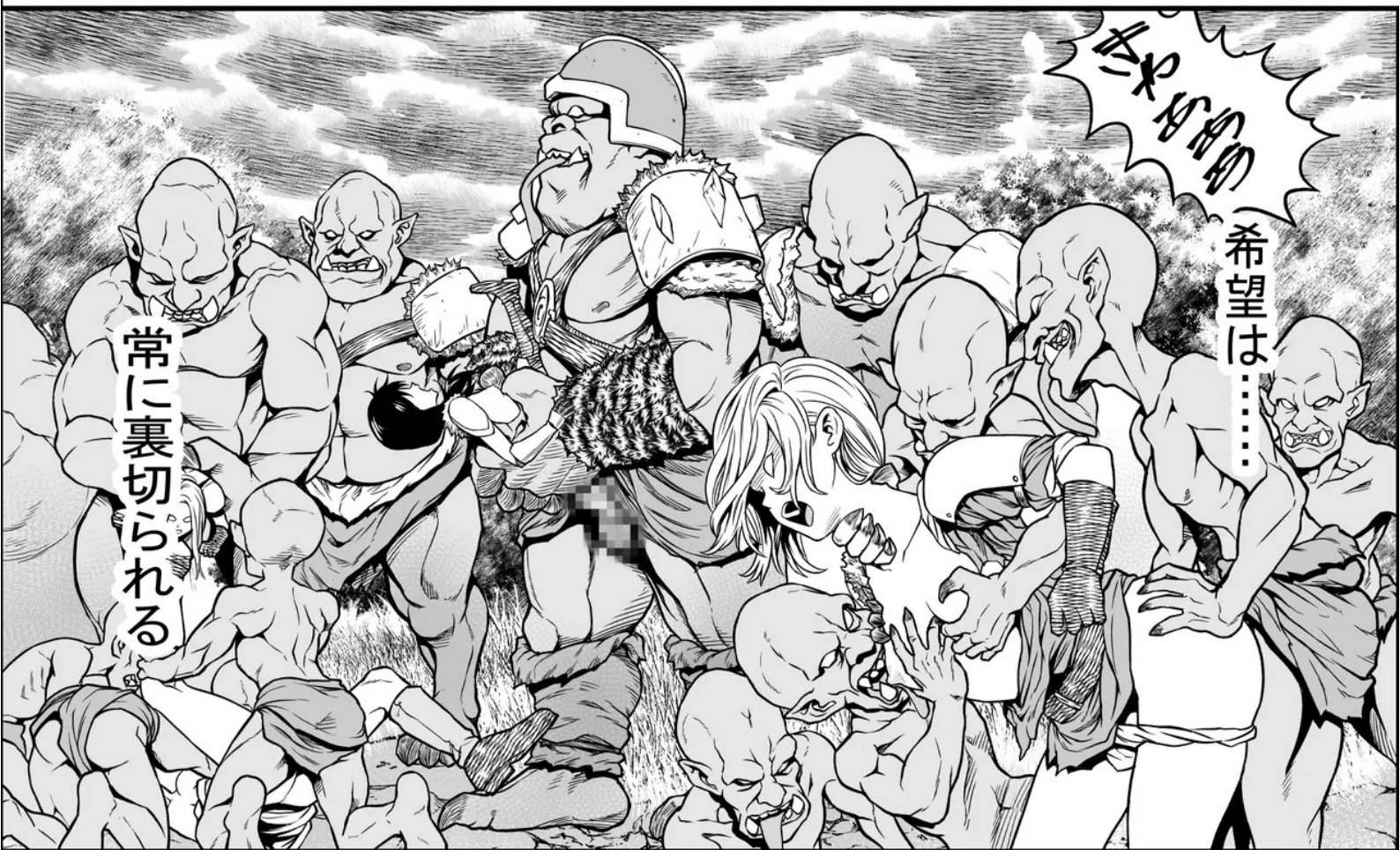
人の世界に
深入りするなど……

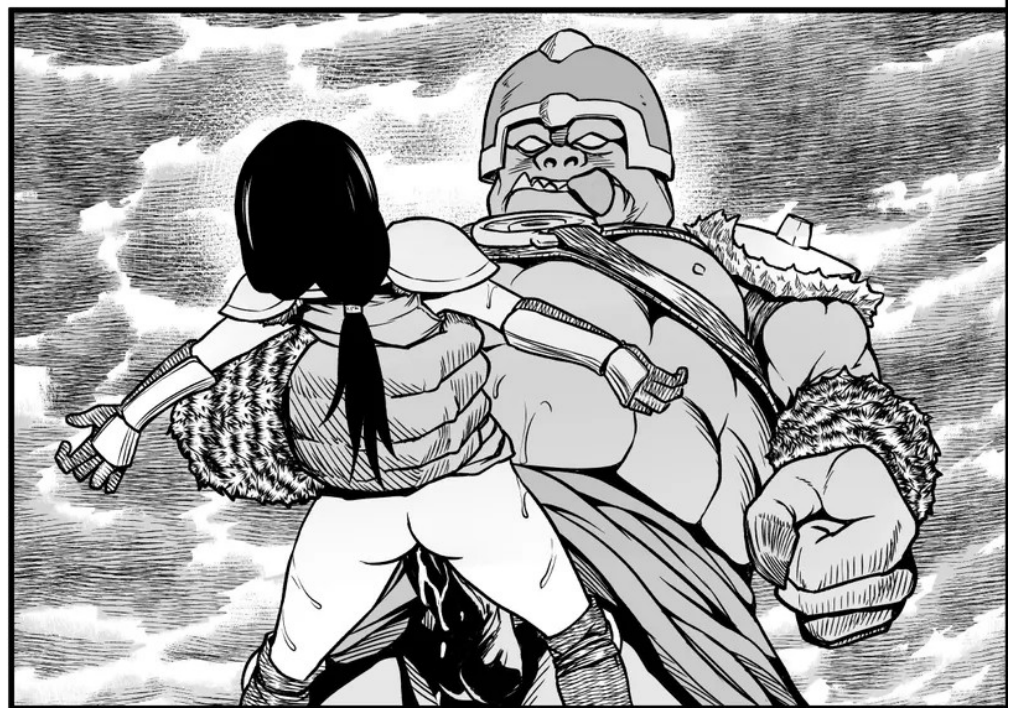
我々は人でも
魔物でもない
狭間の存在……

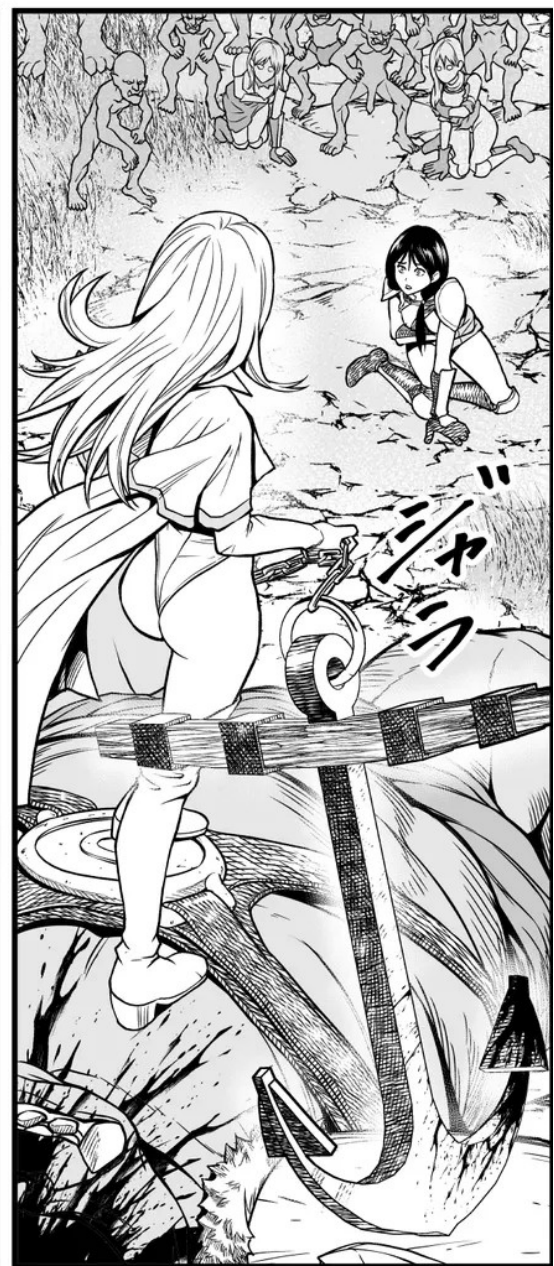
人にとって
恐怖され忌避される存在であり
希望とはなれないのだと……











巡察隊はもう半分になっちゃった

それに
どういふわけか
魔物が強くなっている

1週間前は
このあたりは
まだ安全だったのに

次に
襲撃されたら
モタない

急げば
正午には砦につくわ
それまで辛抱よ

リユーナ……

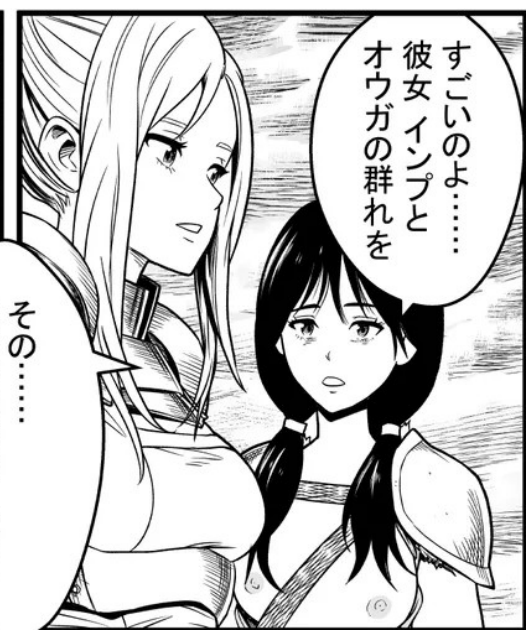
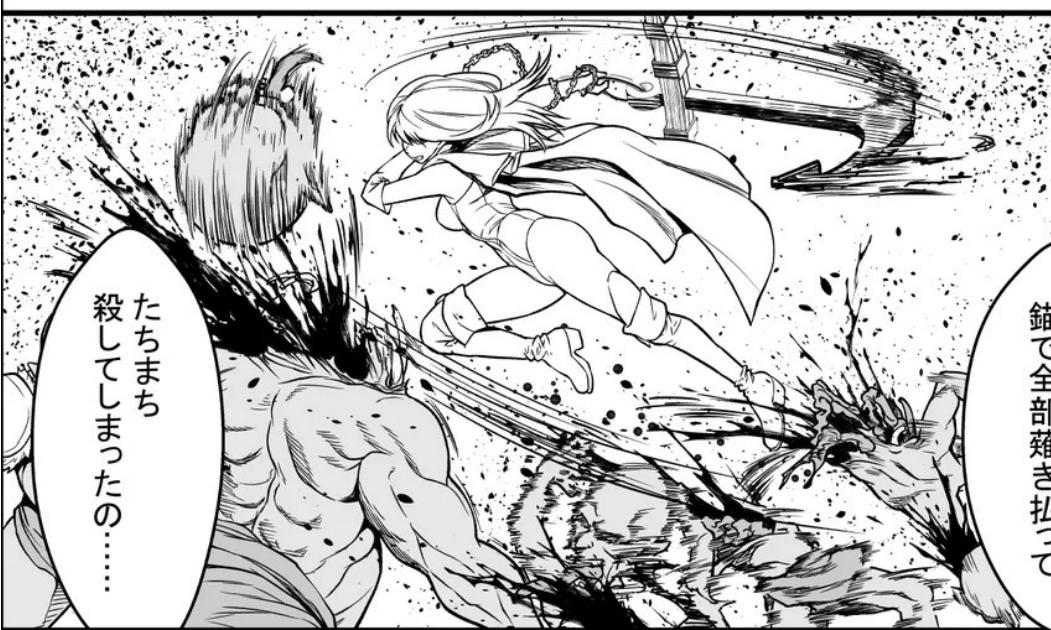
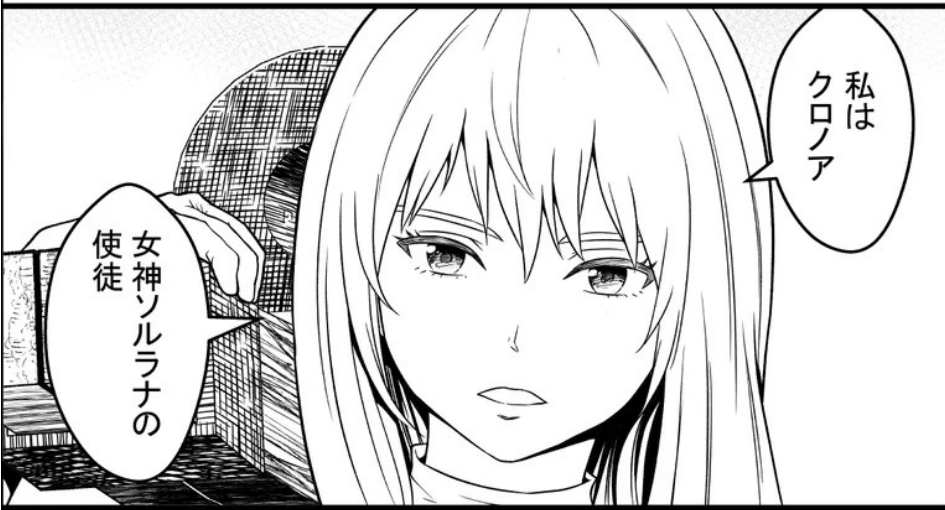
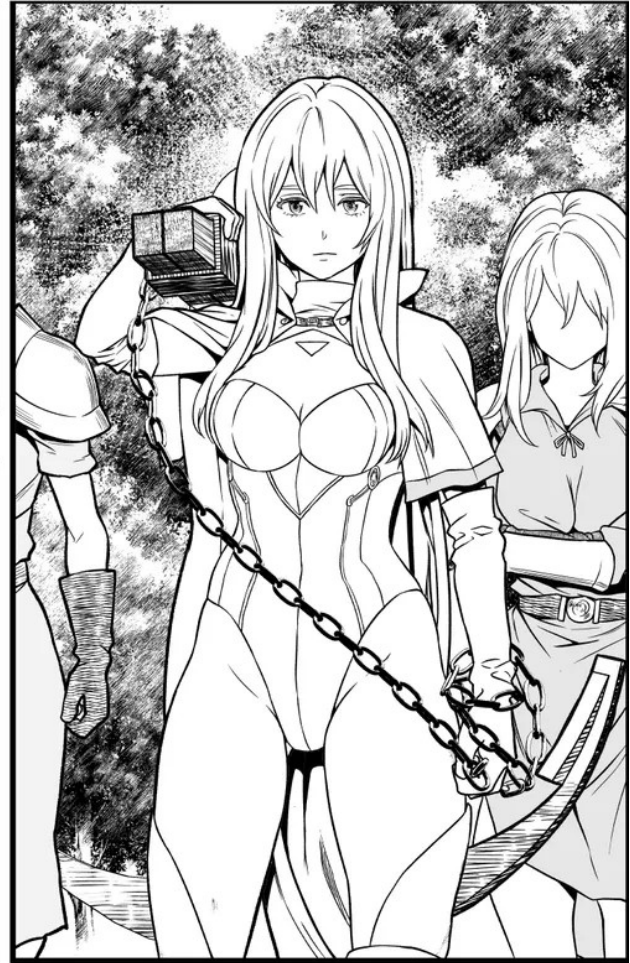
無事だったの!!

ええ……
彼女が……

彼女が
助けてくれたの

エリサ!

みんな……!





私はリユーナ

仲間を
助けてくれて
ありがとう……

とにかく



すごい……

そ……
そうなの……



1週間ほど前に
アルニ村……

彼らの村から
狼煙があがって
救出に派遣されたのよ

それで今は
彼らを引き連れて
砦へ帰る途中なの



この地方に
魔物の大量流入……
禍津波まがつなみ)が
発生してから

そこで戦って
いたんだけど

この街道の先にある
ラーデン砦の
巡察隊の中隊長をしている



砦は
陥落しているわ

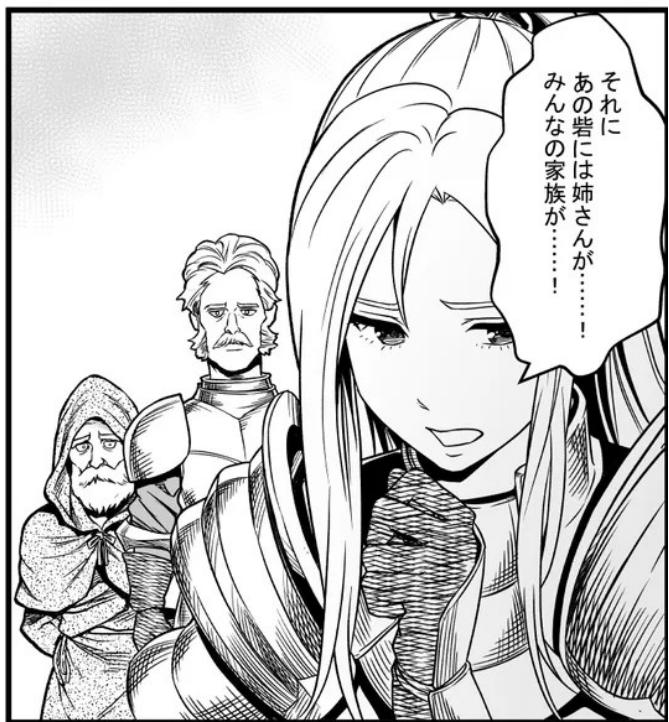
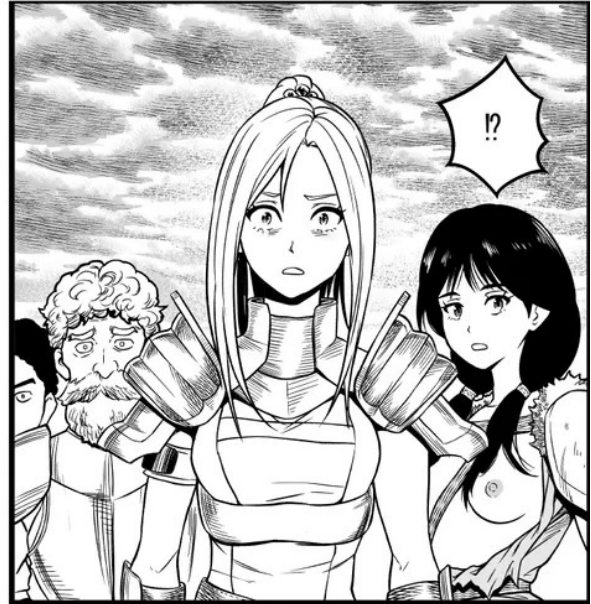


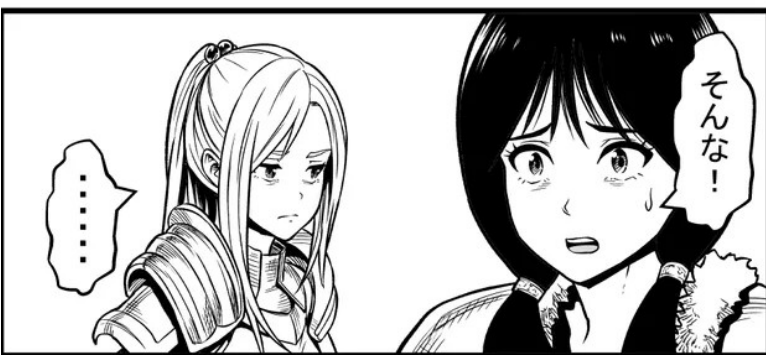
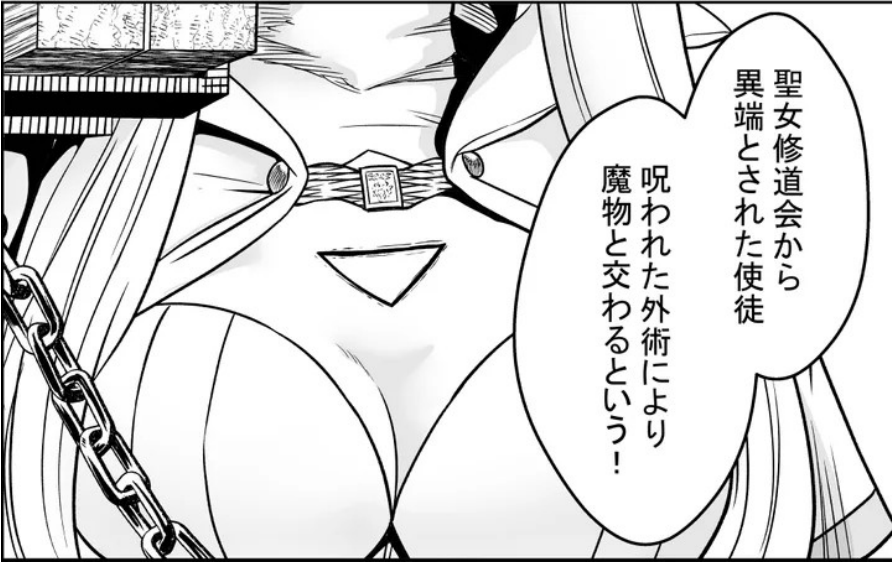
この街道の先？

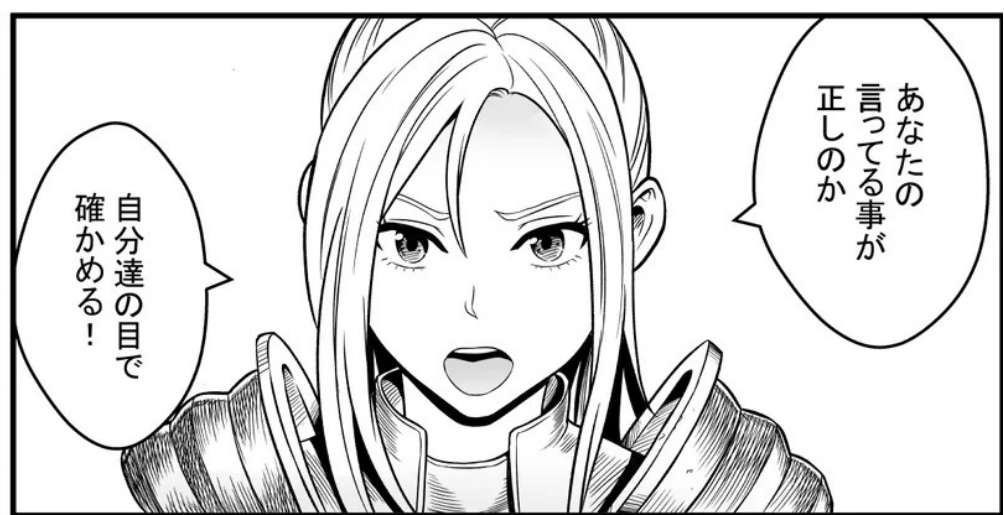
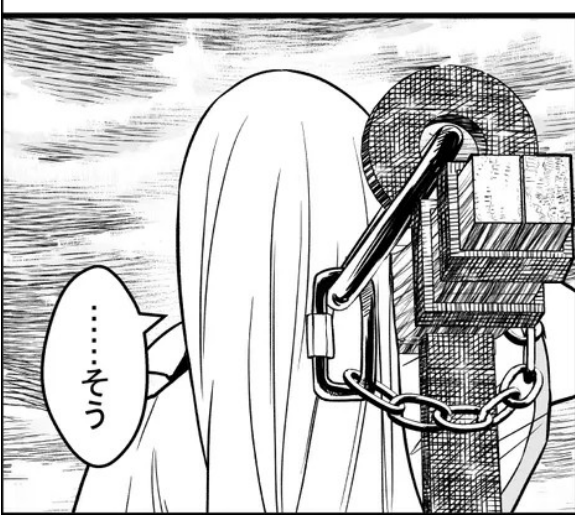
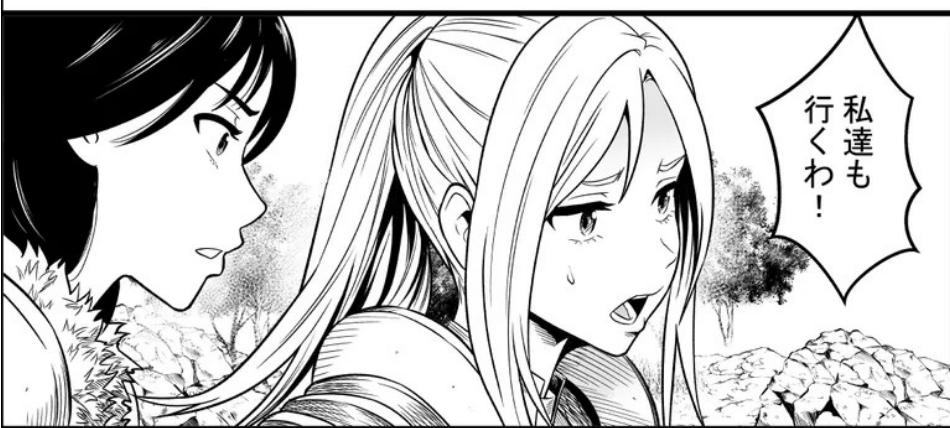
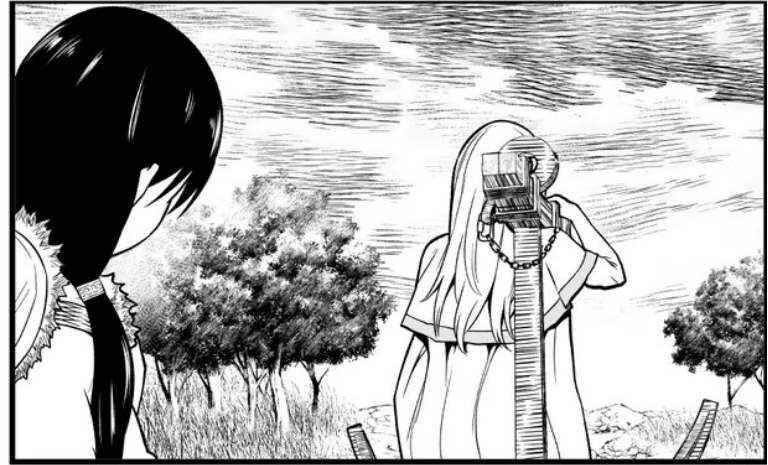
え？

ええ
そうよ

この街道を
北上したところにあるわ





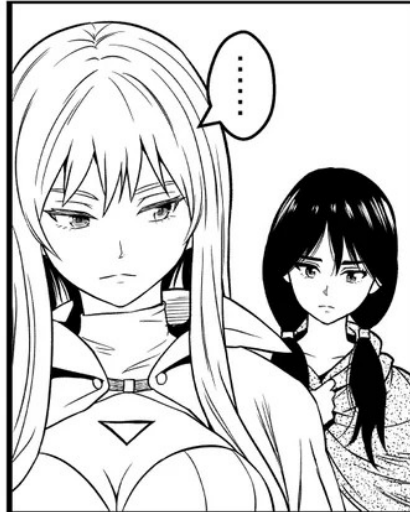




みんなの事
ごめんなさい……

ガラガラ

大変な事ばかりで
心が荒んでしまつて……



……



ガラガラ



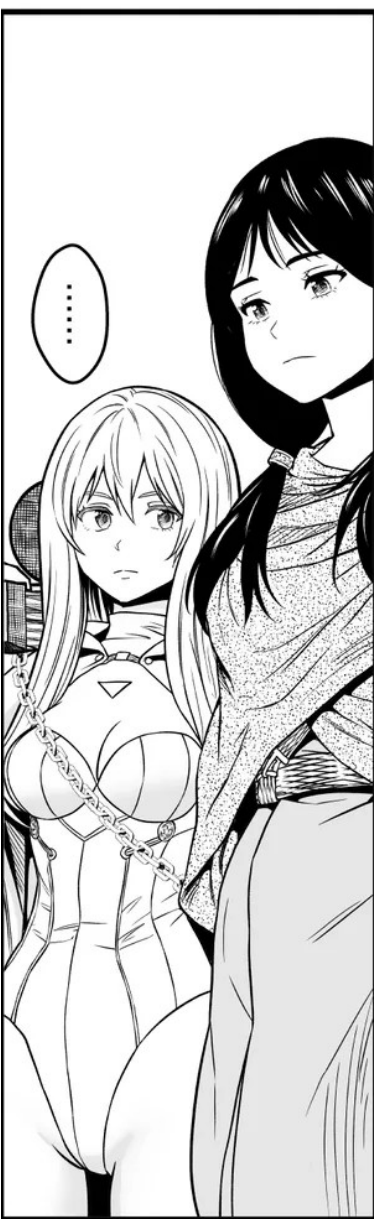
……



慣れているから
平気よ……

それに
言ってる事は
強ち間違いじゃない

私達が外術で
魔物と交わる
凶々しい存在だというのは



……



人外の力があれば
人の武器を使う必要もない
だからコレを使っている

ジャラ

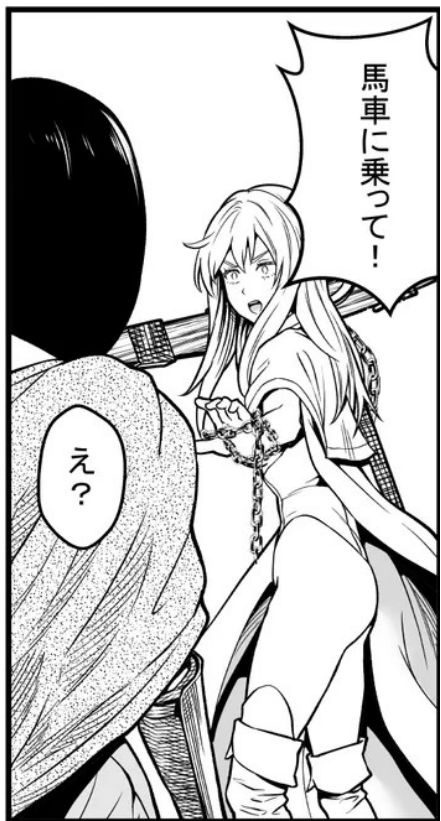
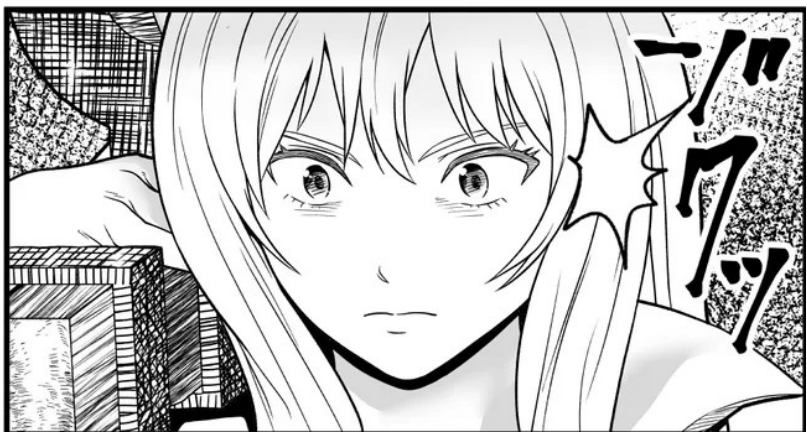
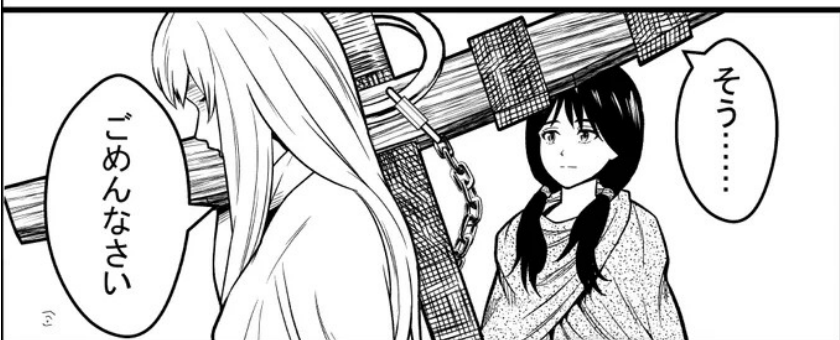
私の仲間は
炎や闇を結晶化させる
魔法を放つけれど
私の能力はこの薙力……

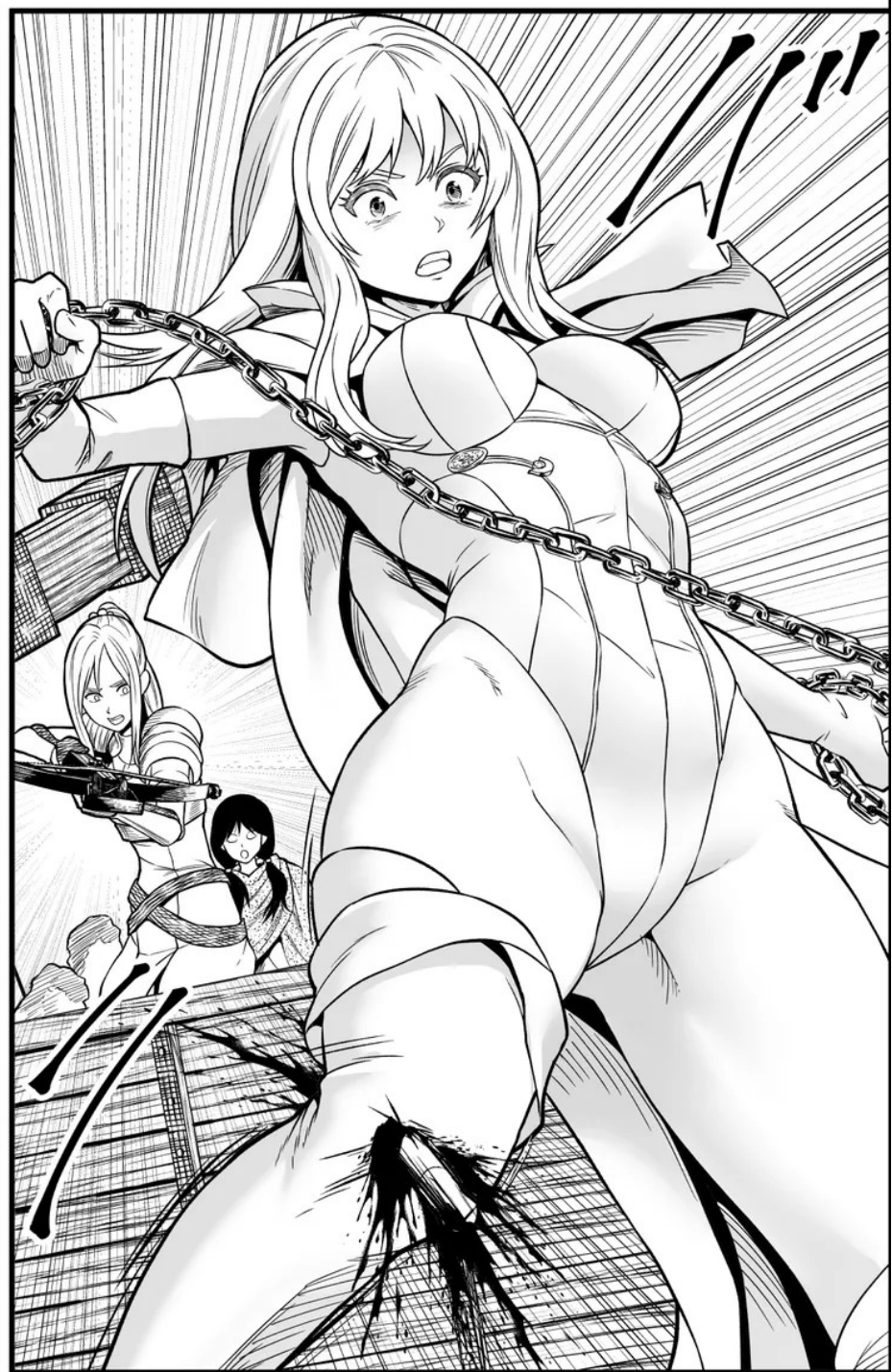
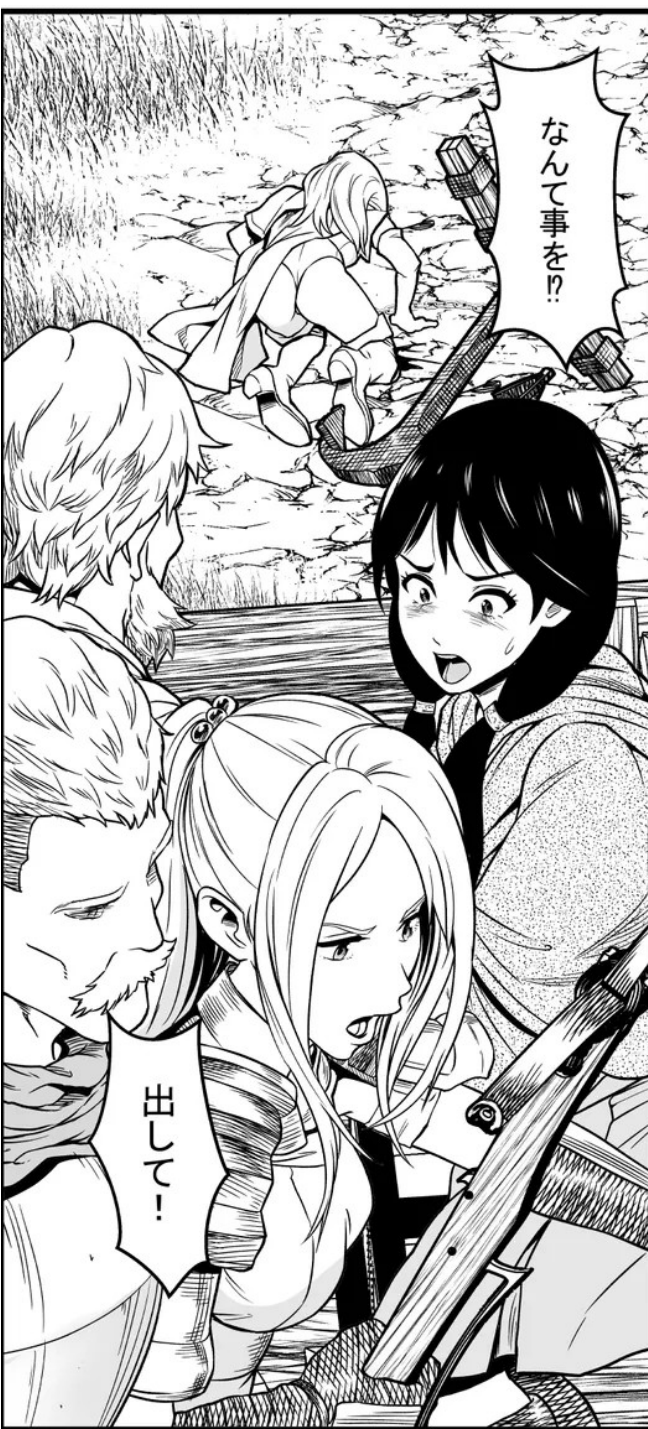
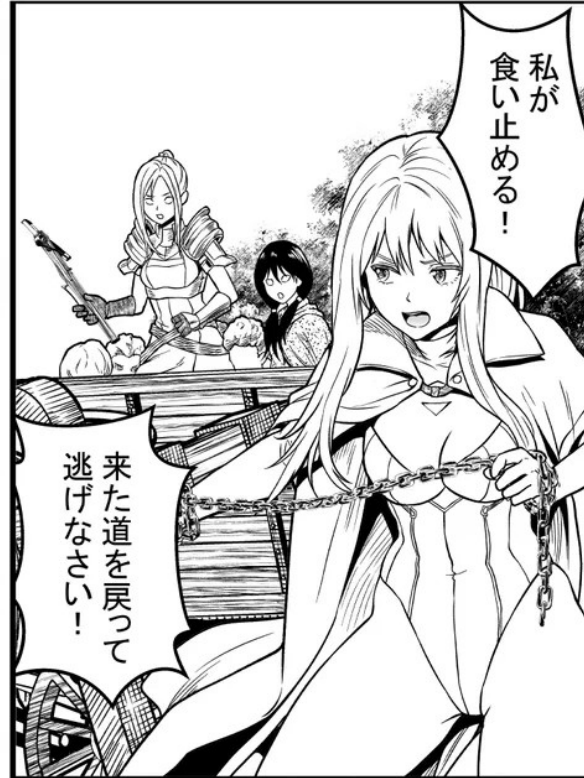


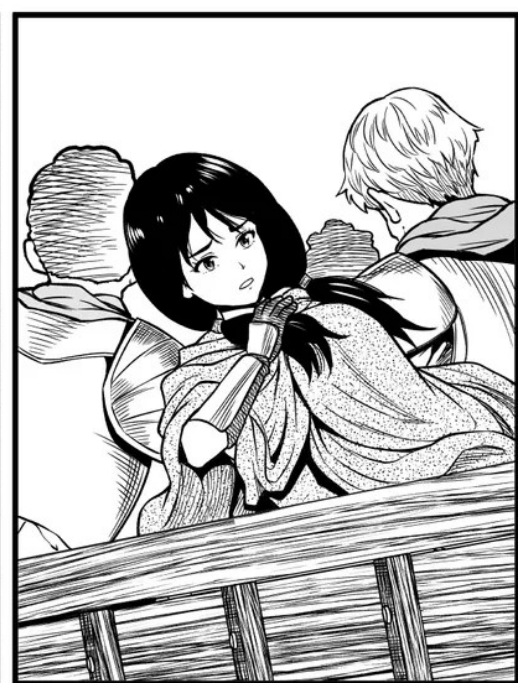
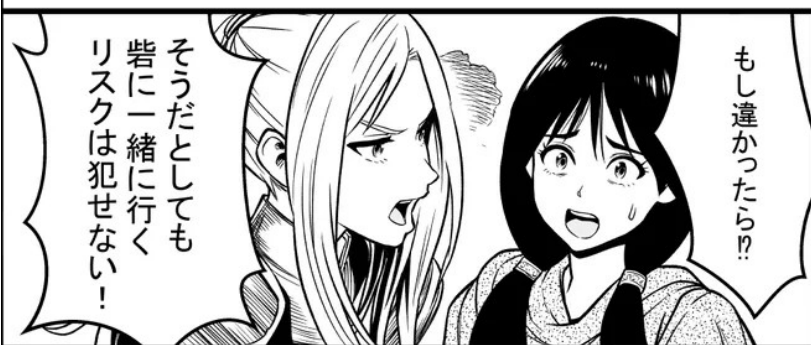
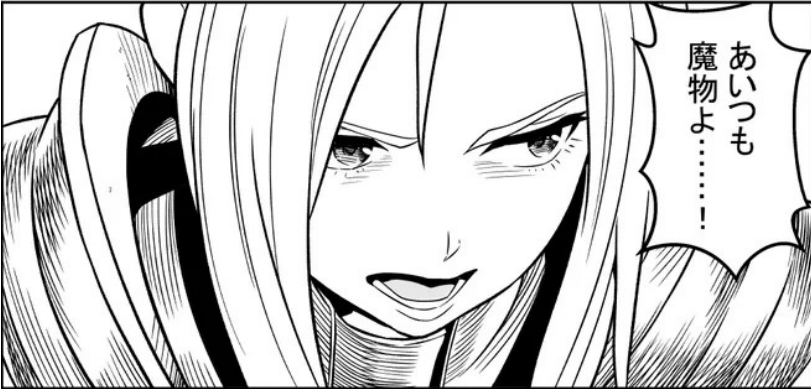
そのすごい
力も……

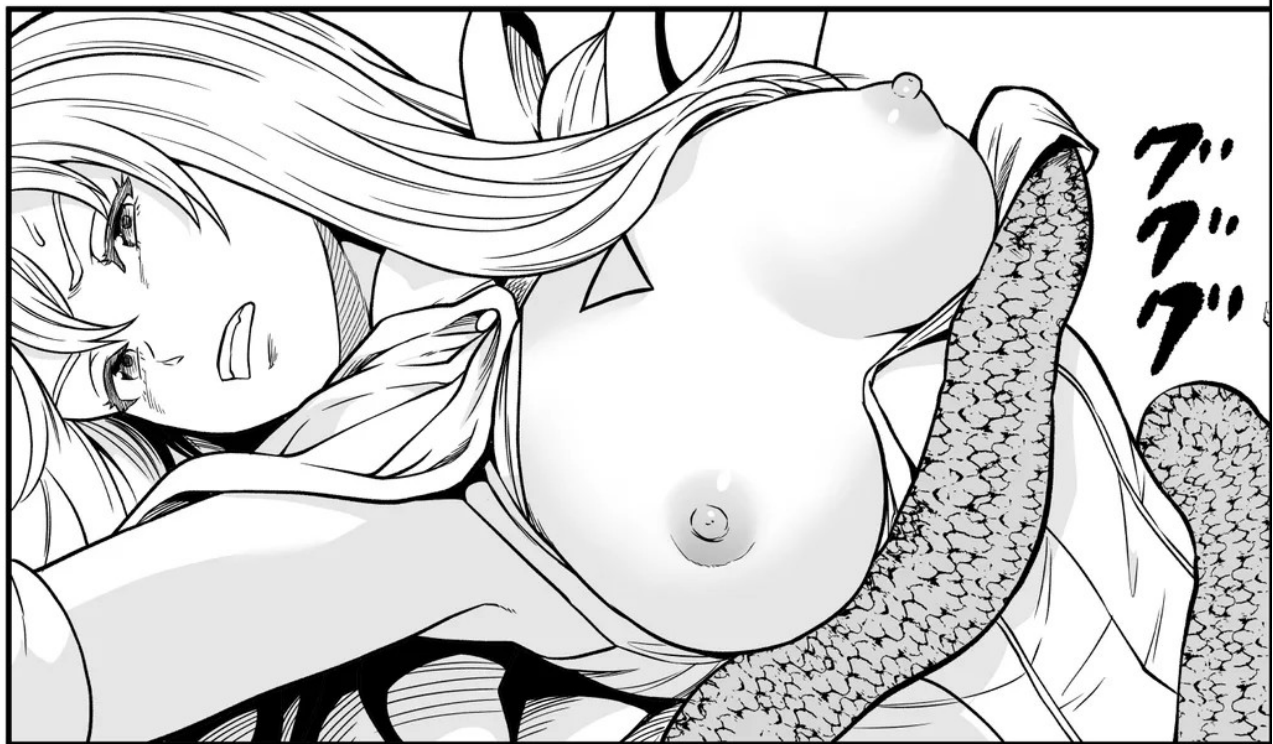
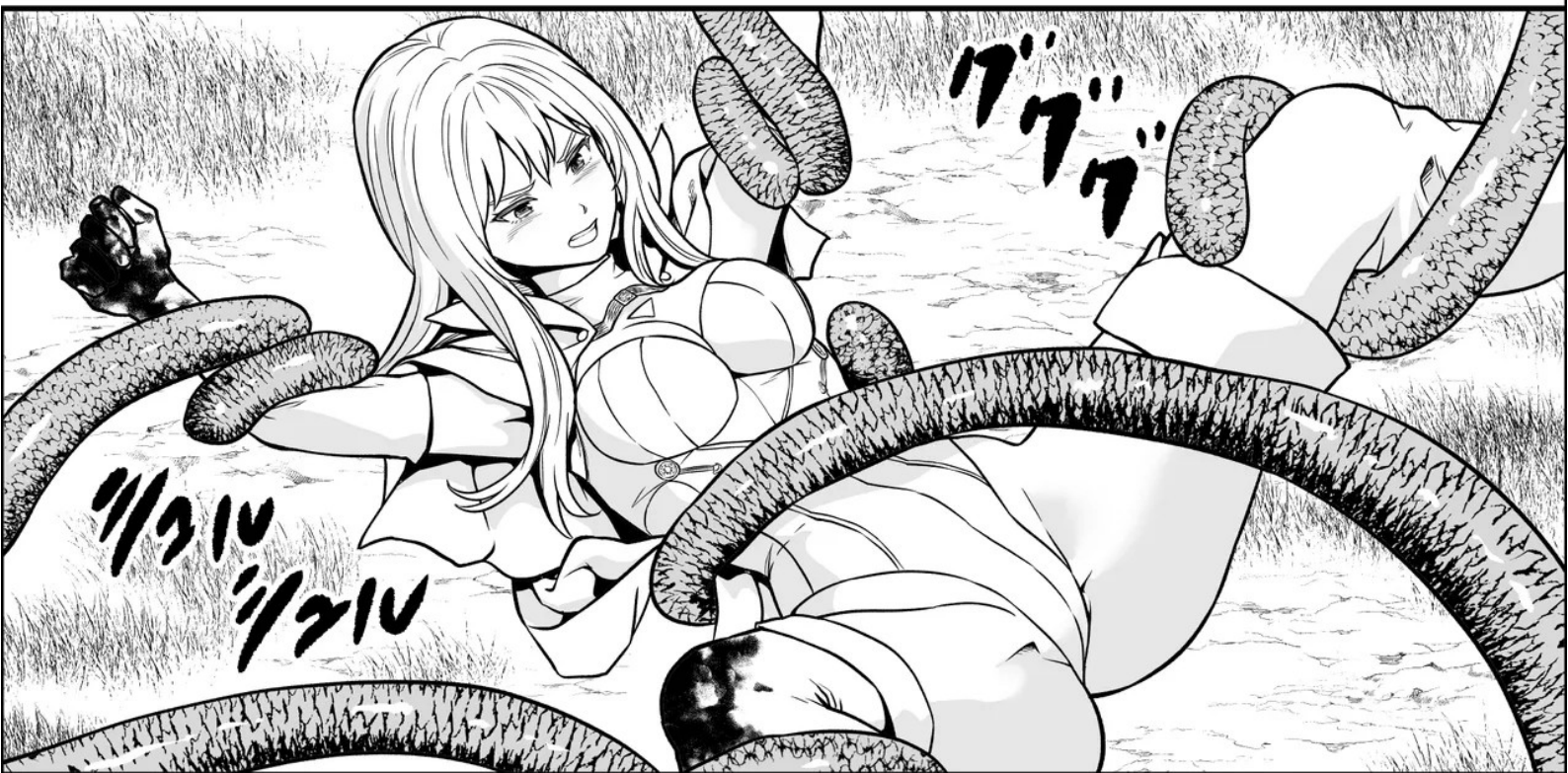
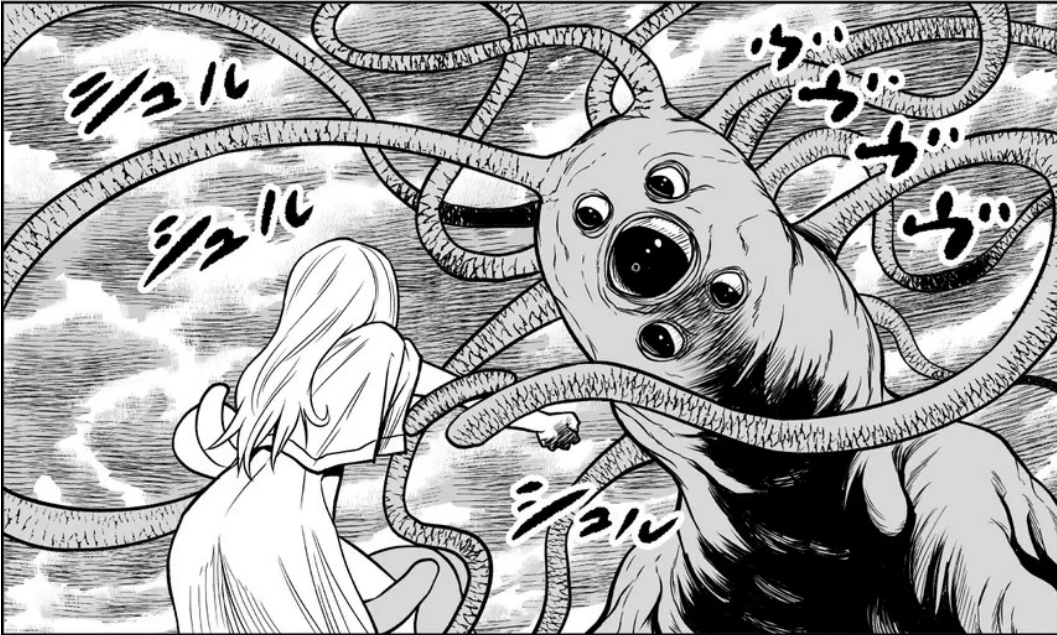
魔法の力なの？

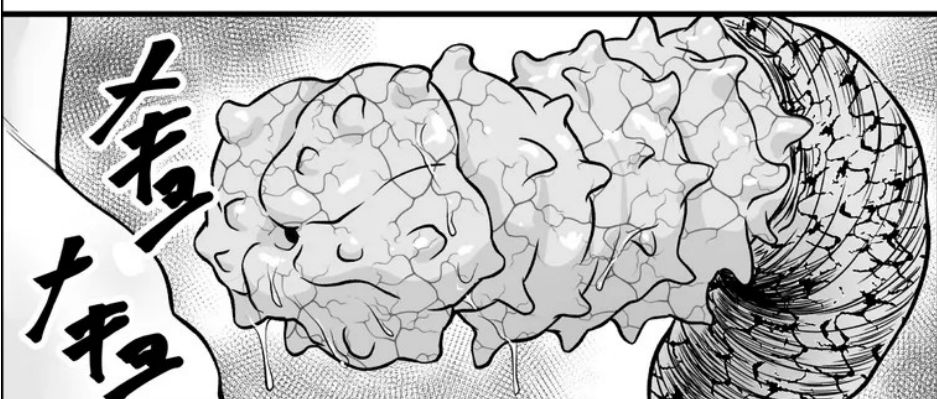
ええ……
秘術によって手に入れた
「魔物」の力……

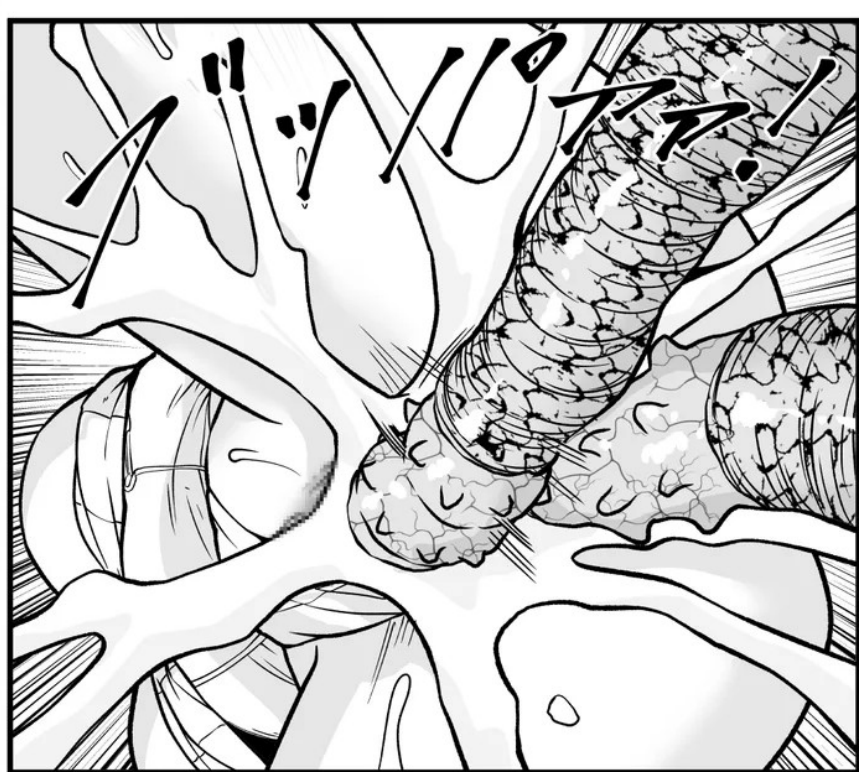
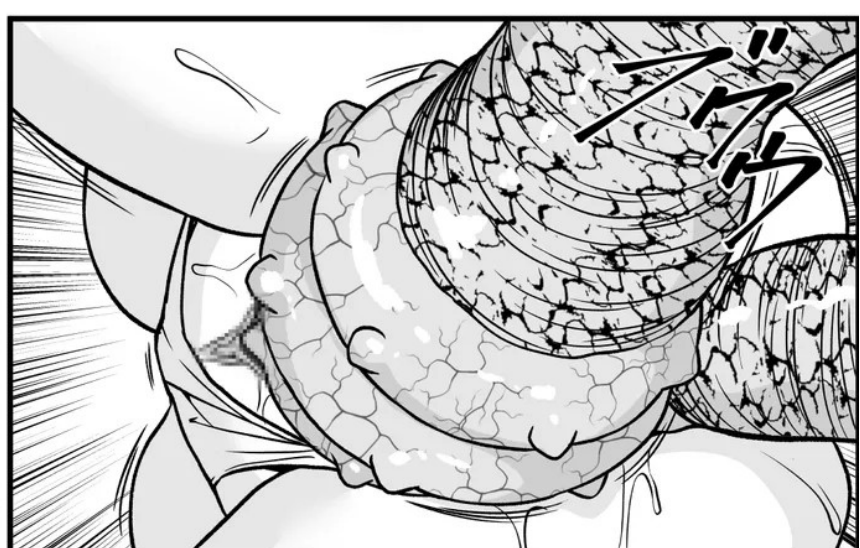
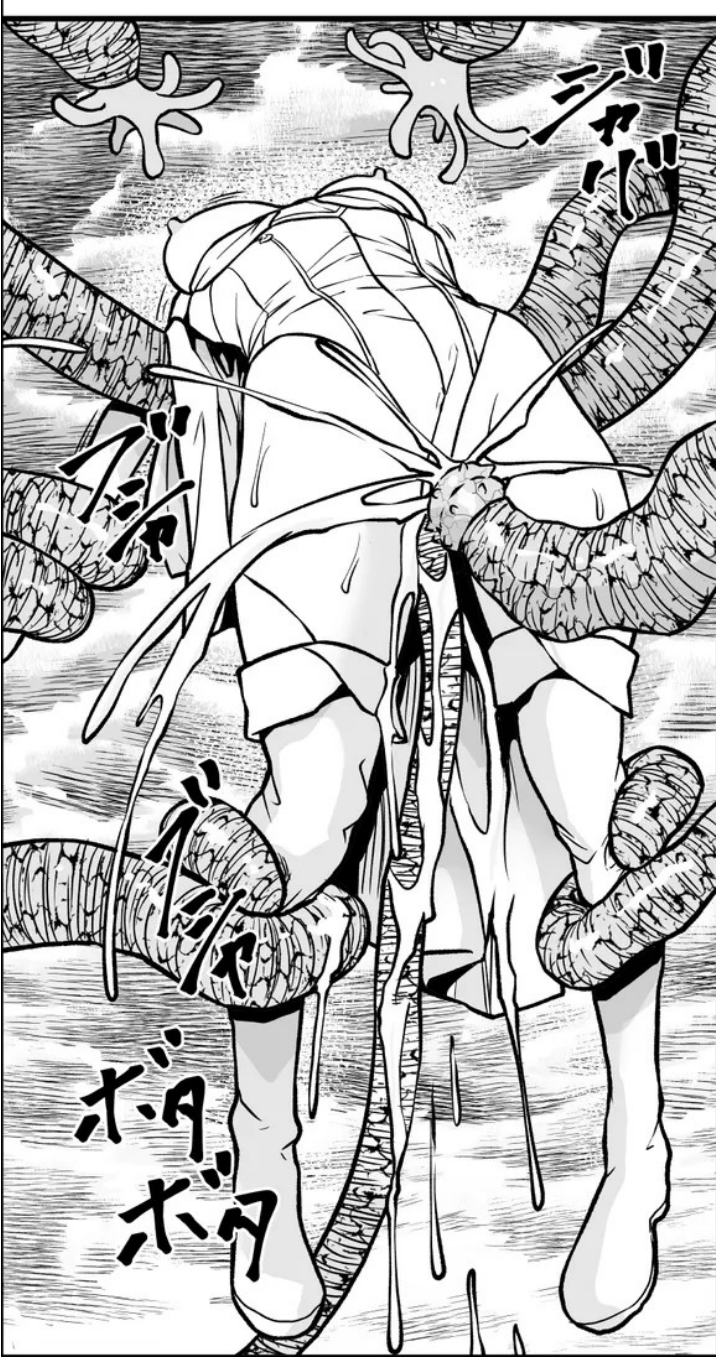


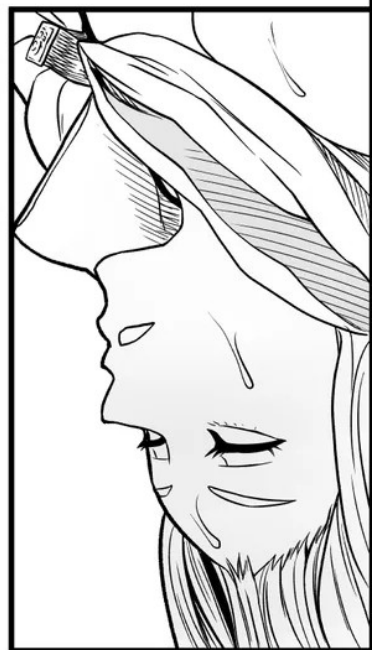
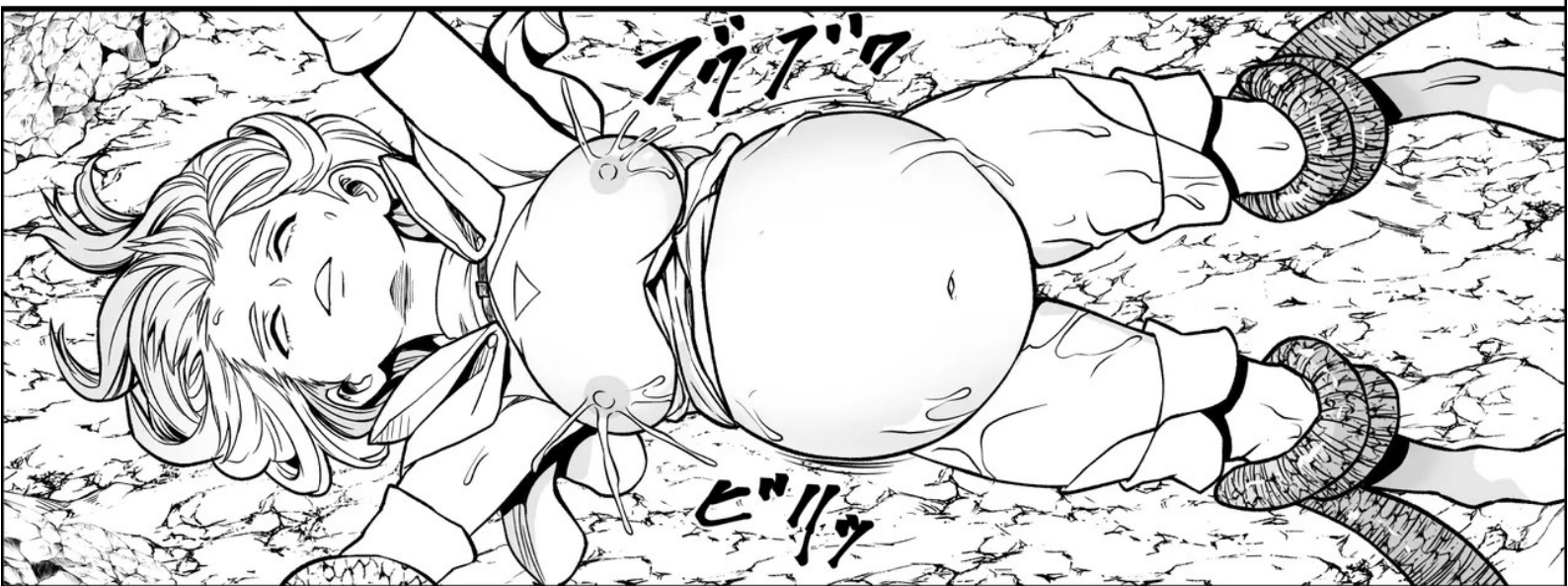
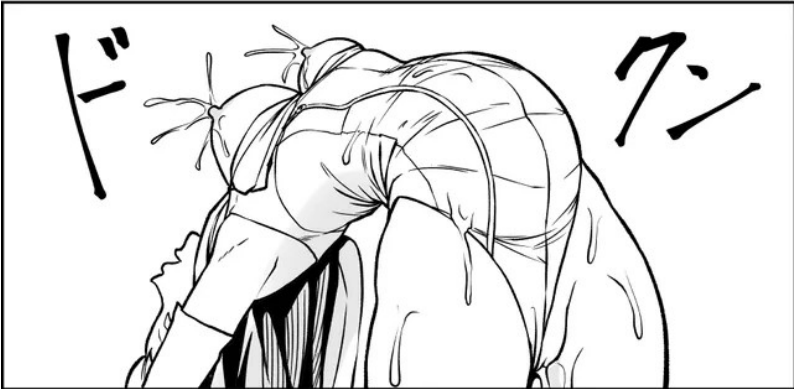


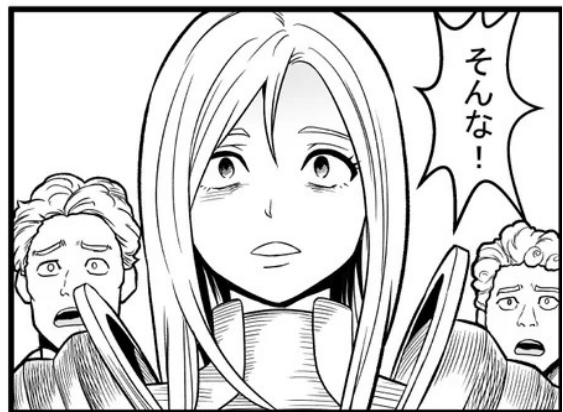
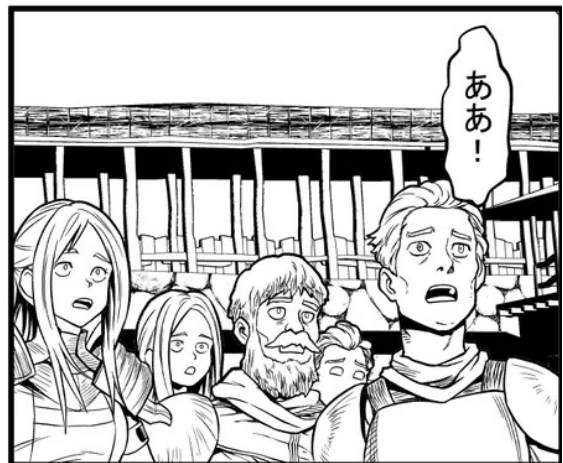
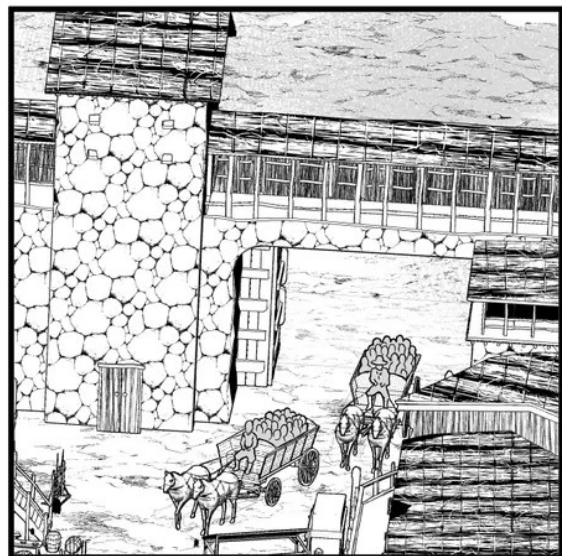
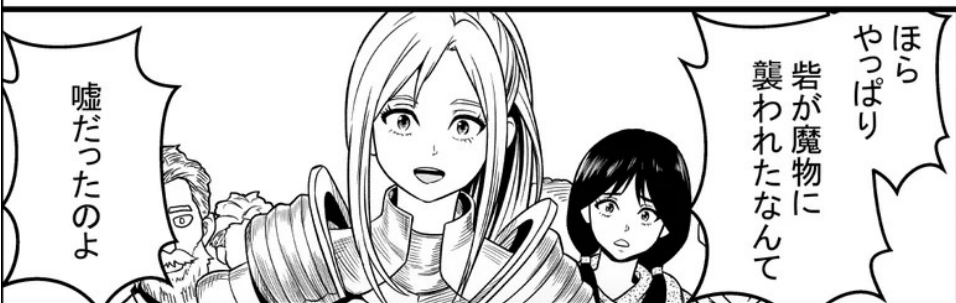
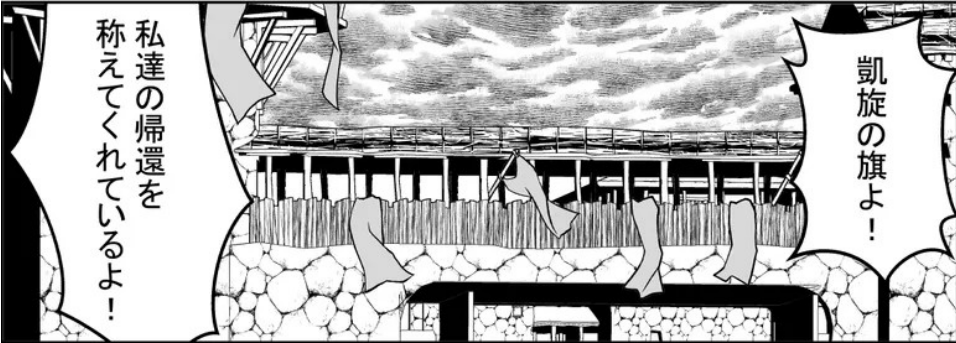


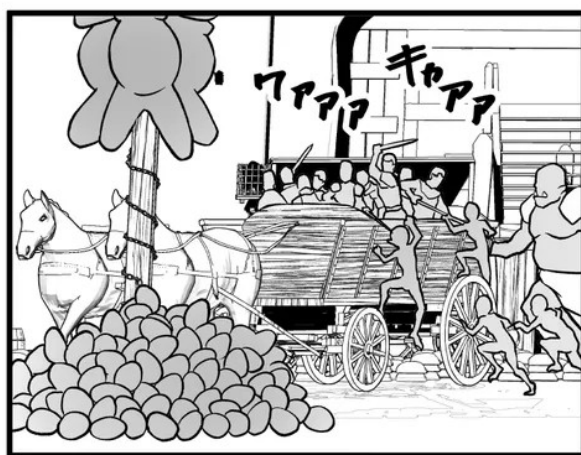
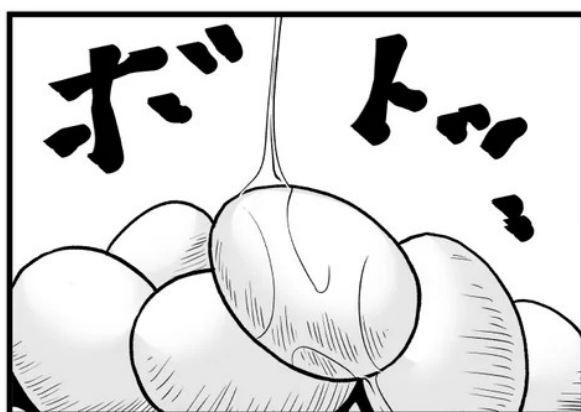
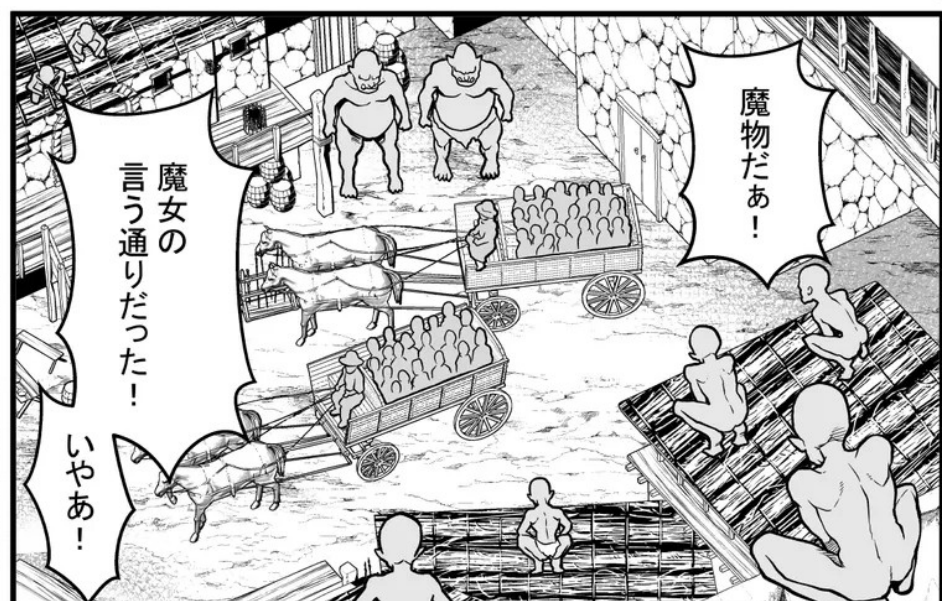
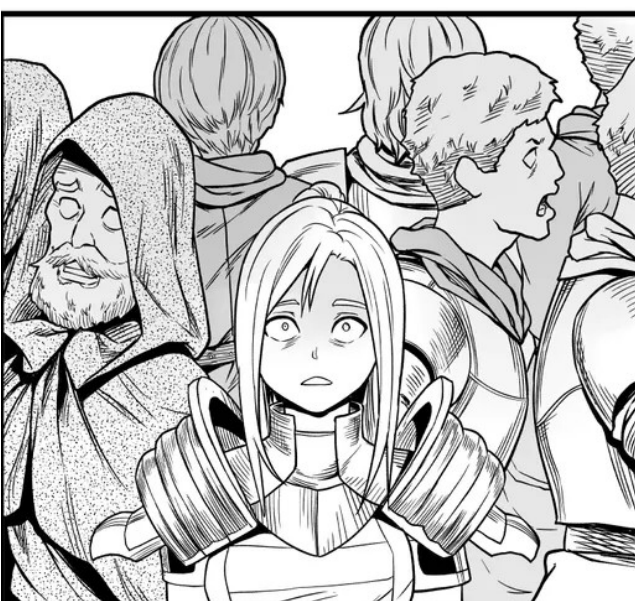
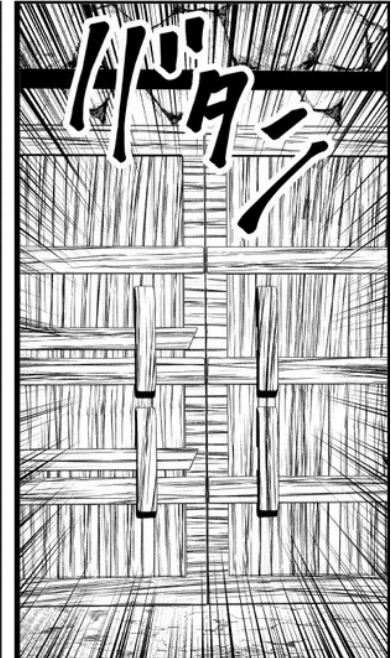












我々は
魔物と交わり

転生の度に
魔性が拡がり心を蝕む……

魔物の力を
吸収して転生する

ビョ
ビョ
……

人と接した事で
心の隙が生まれたのか……

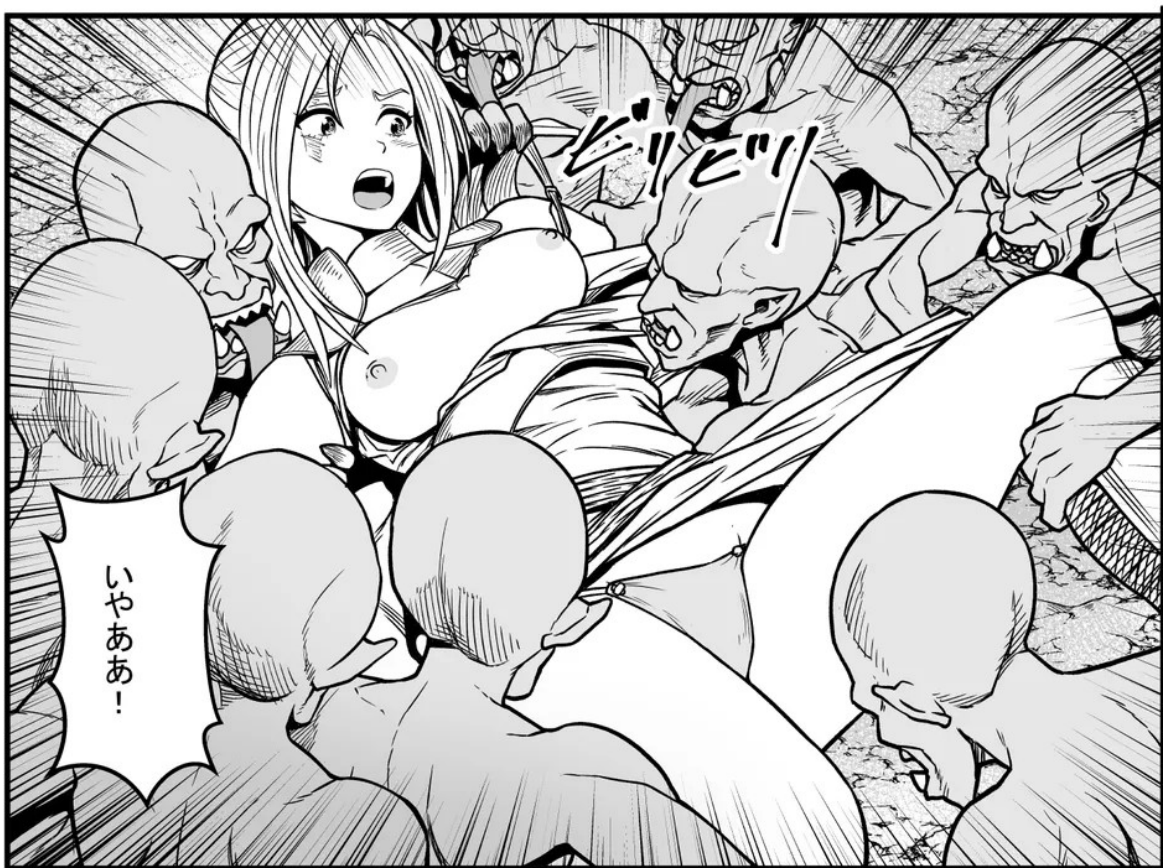
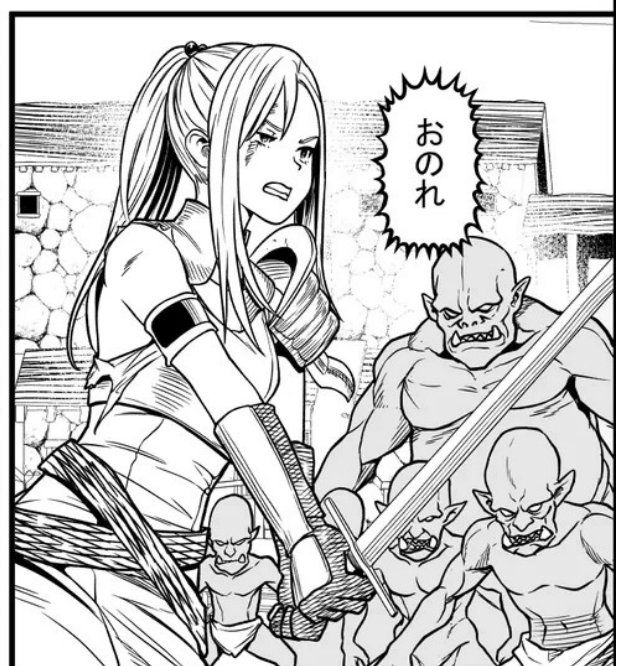
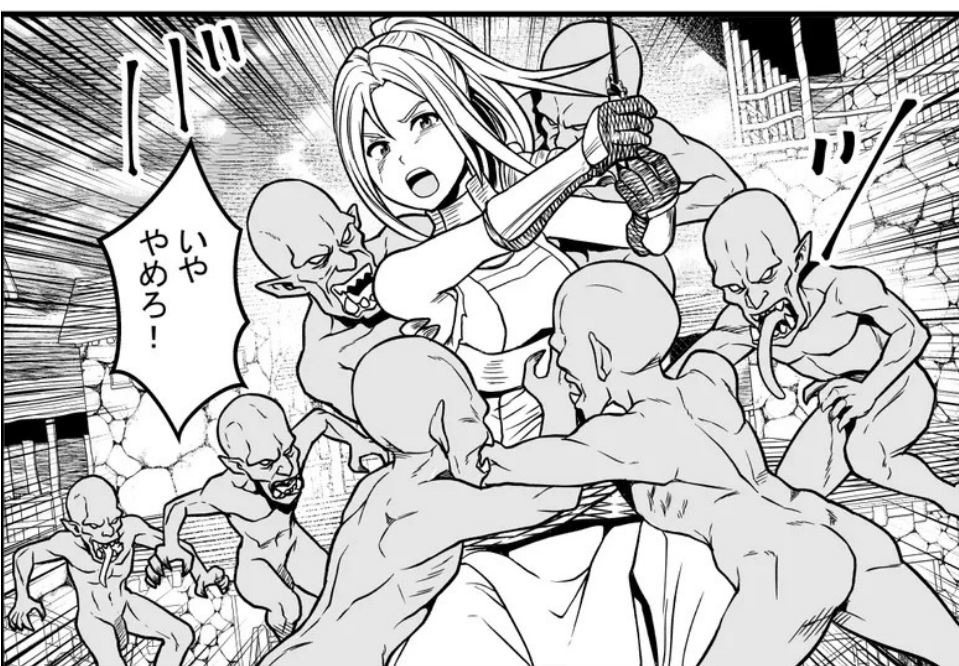
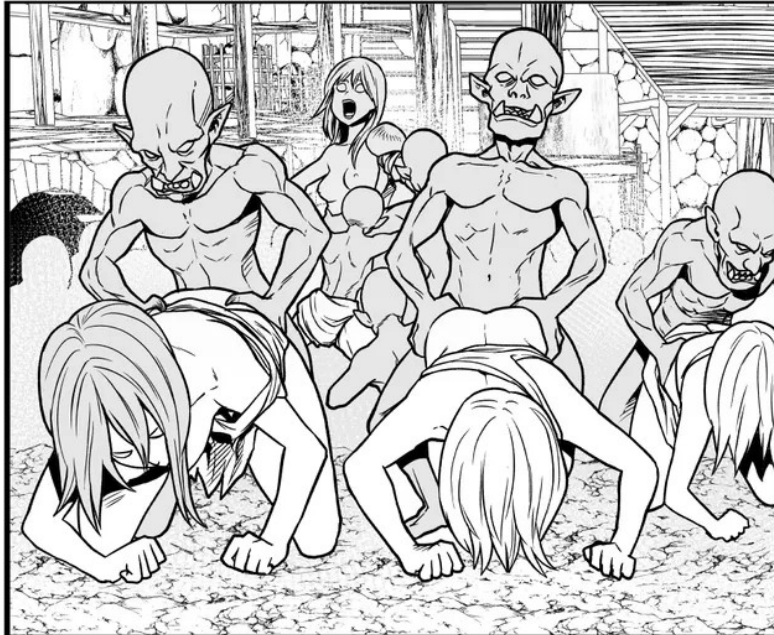
膝を撃ち抜かれるまで
殺気を読めなかった……

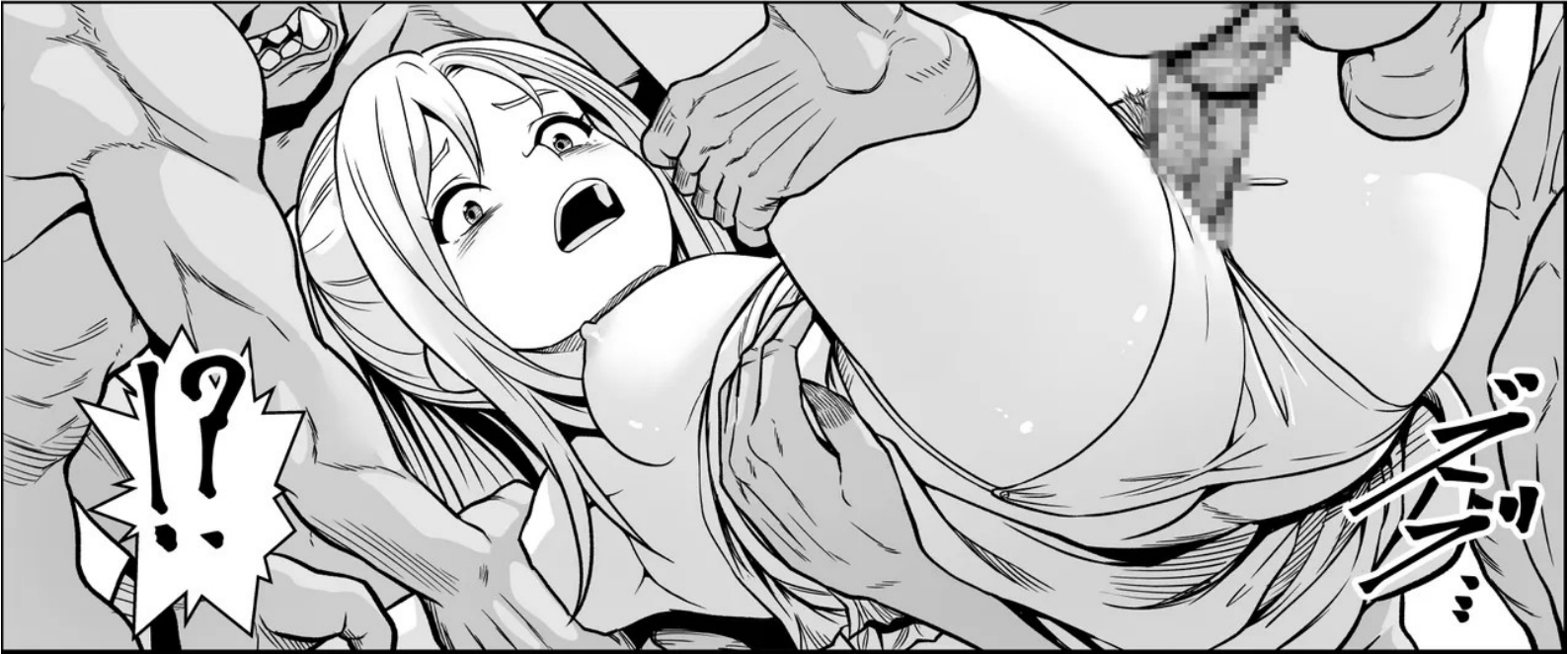
本能と暴力性！

今一度
呼び起こせ……

私の中の
魔物の力……！

こんな雑魚と
交わる事になるとは……











でも次の瞬間

彼は突然現れた
魔物によって
潰されてしまった……

最愛の人を
失った悲しみは
恐怖でかき消された

それから……

私は魔物の巣で
何日も犯された……

グホッ
グホッ

このまま
犯され孕まされ
最後は死ぬ……

そう諦めかけた時

魔物の巣に
冒険者が
やってきて……

私は助けだされた

良かった
これで救われた
そう思った……

だけど私は
魔物の子どもを
宿していて



強引に
堕胎させられ……

その時に子どもを
生む機能を失った……



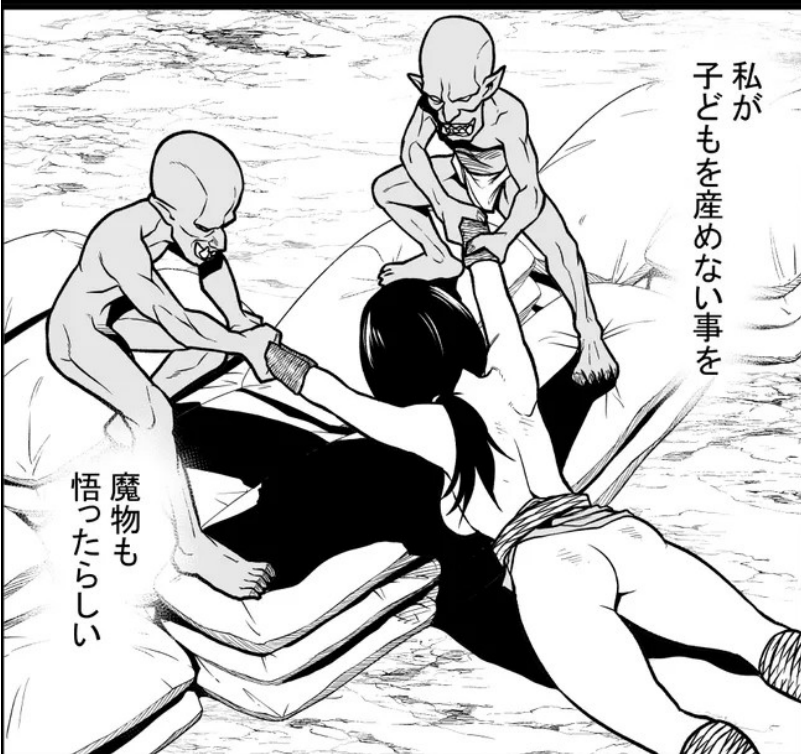
ずっとそうだった
絶望は希望の仮面を
つけてやってくる



私を期待させた後に
どん底に突き落とす……



私が
子どもを産めない事を



魔物も
悟ったらしい

だから……
別の使い道に
回されるんだろう

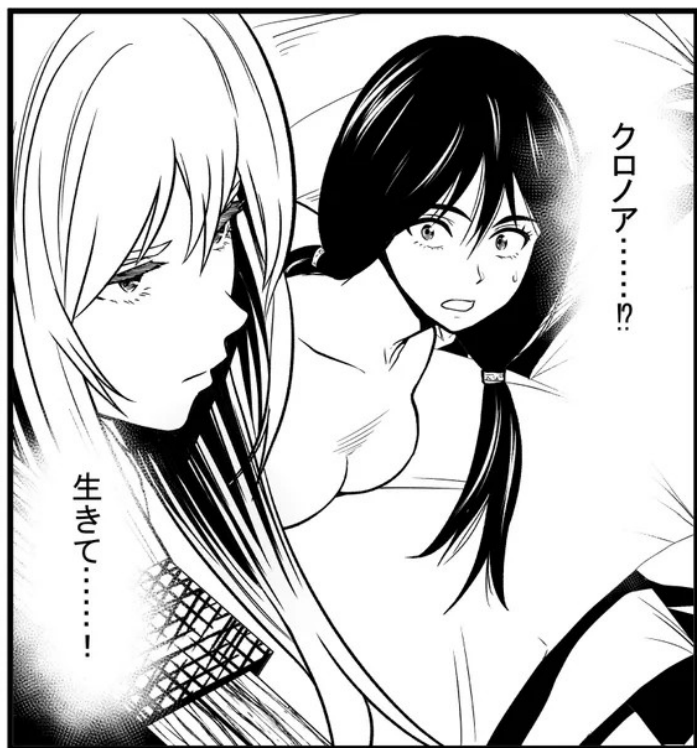
「こ」で解体されて
私は「肉」として
利用される……

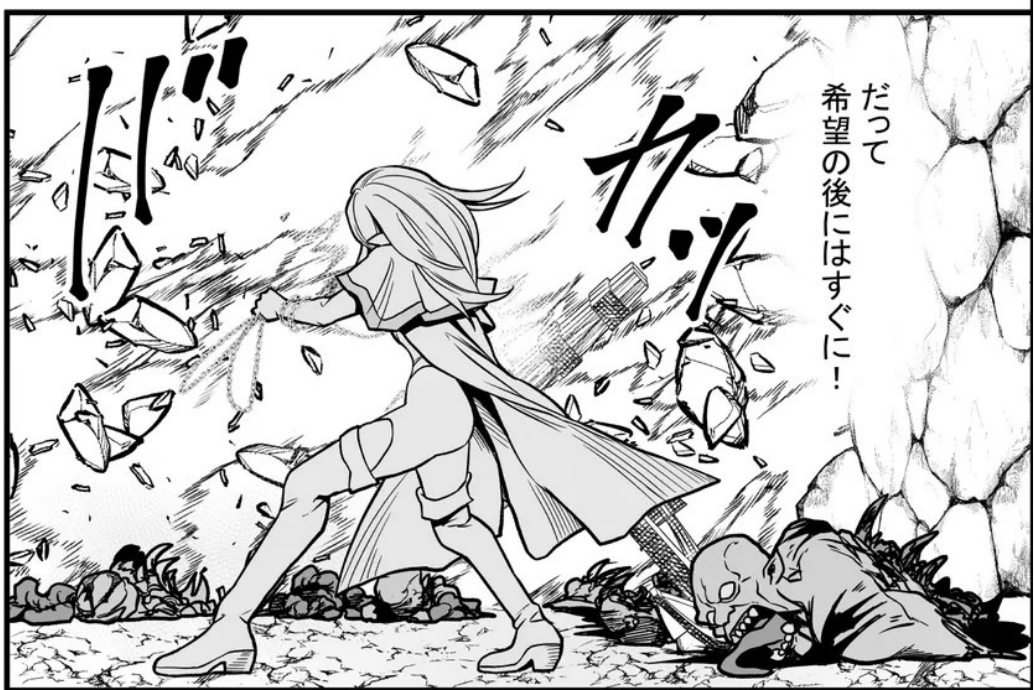
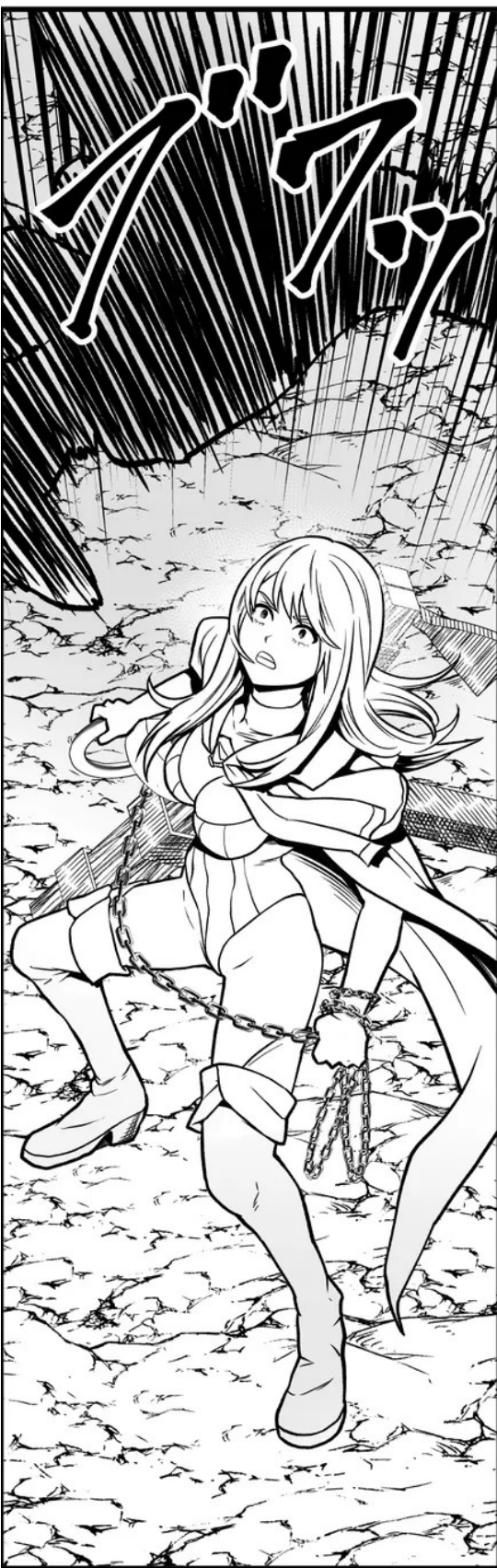


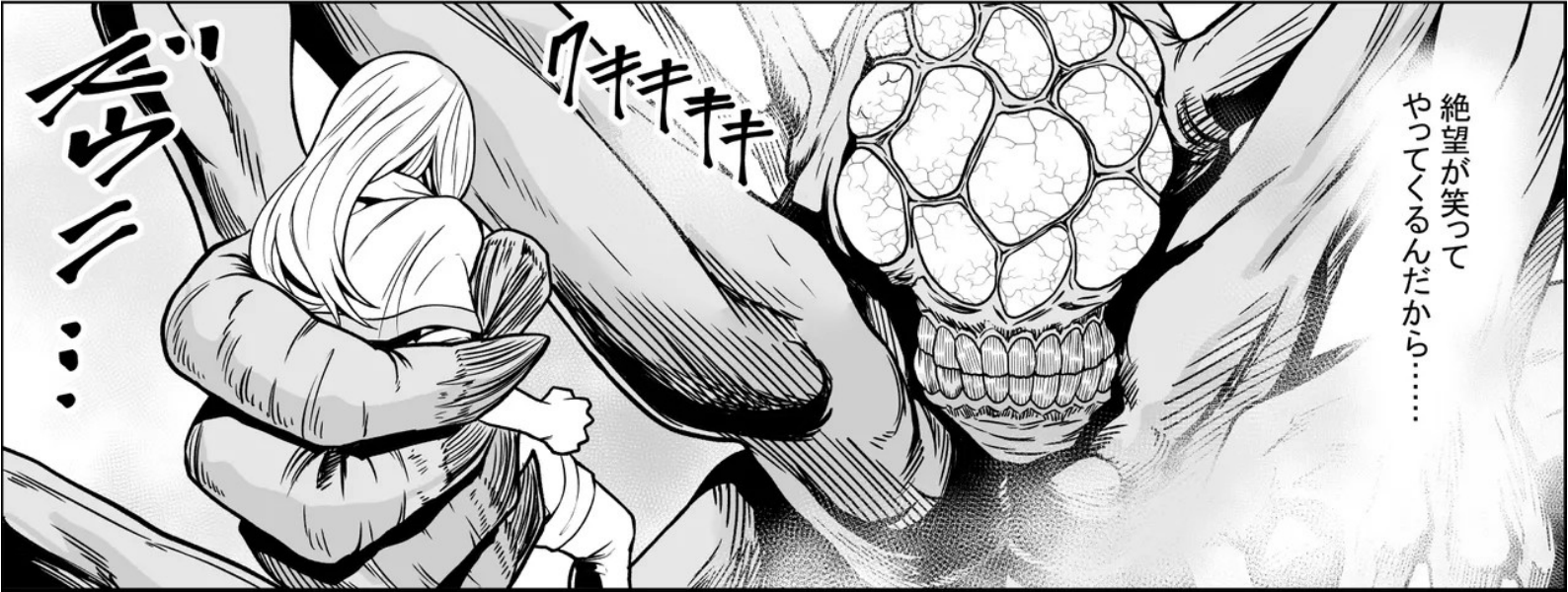
さっさと終わらせて



もう
こんな呪われた世界……
居たくない……







絶望が笑って
やってくるんだから……



クロノア
逃げて……

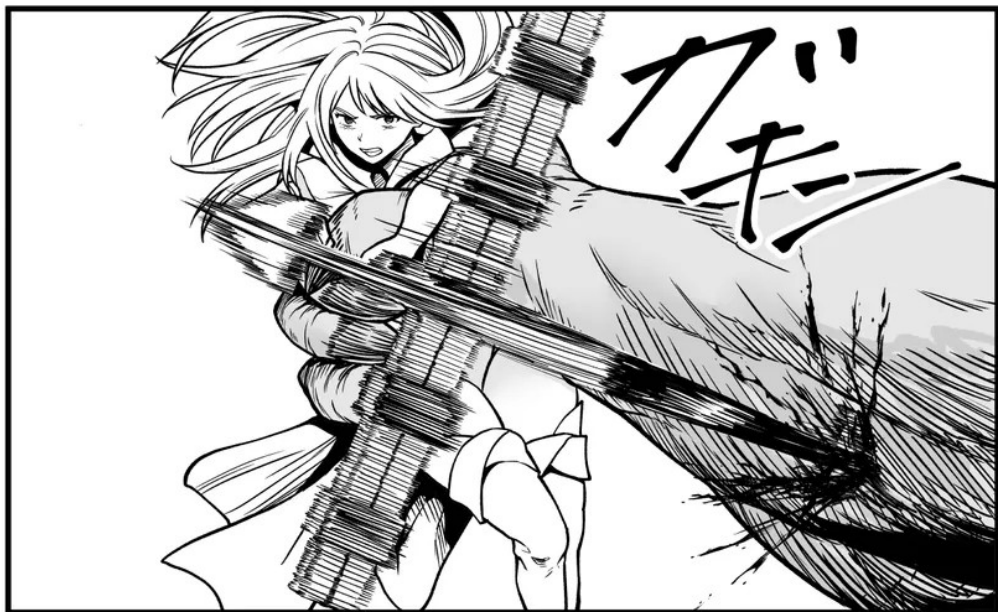


インクバス(孵卵鬼)
こいつがこの群れの
頭目……!

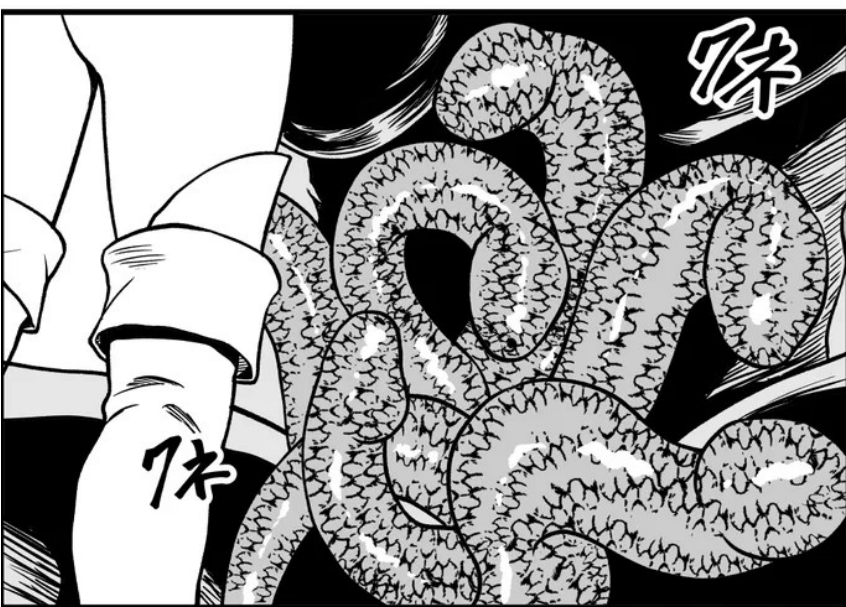
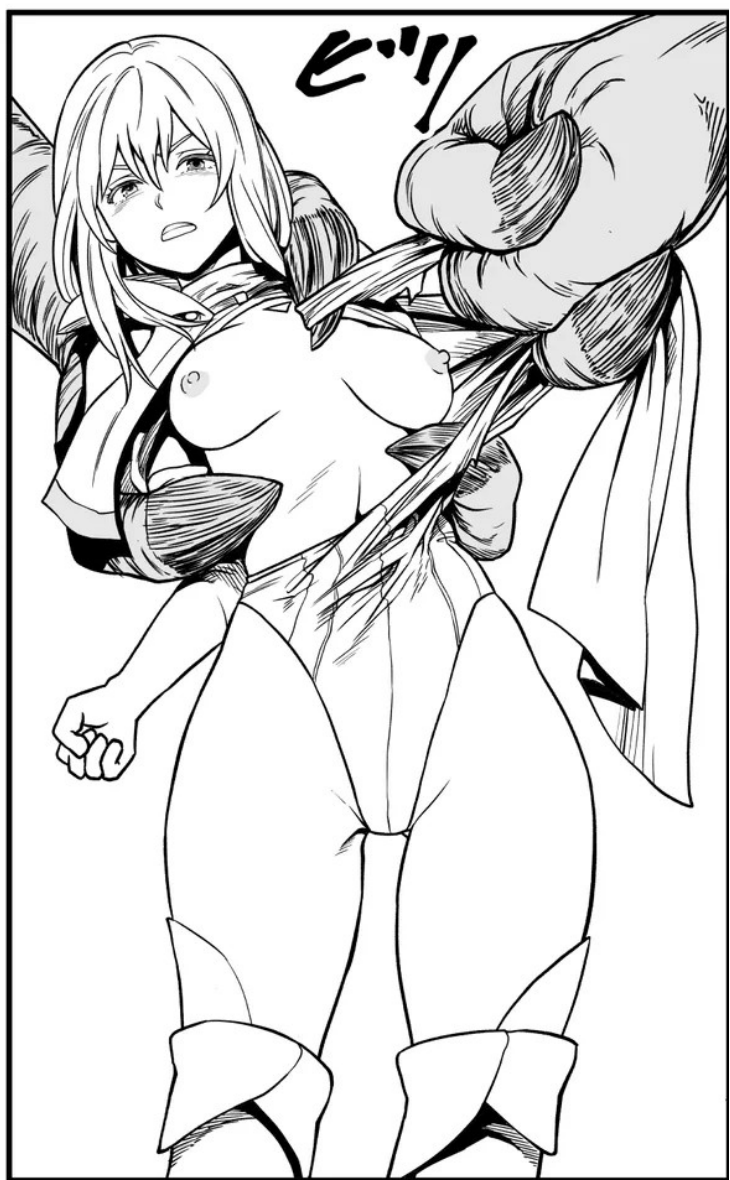
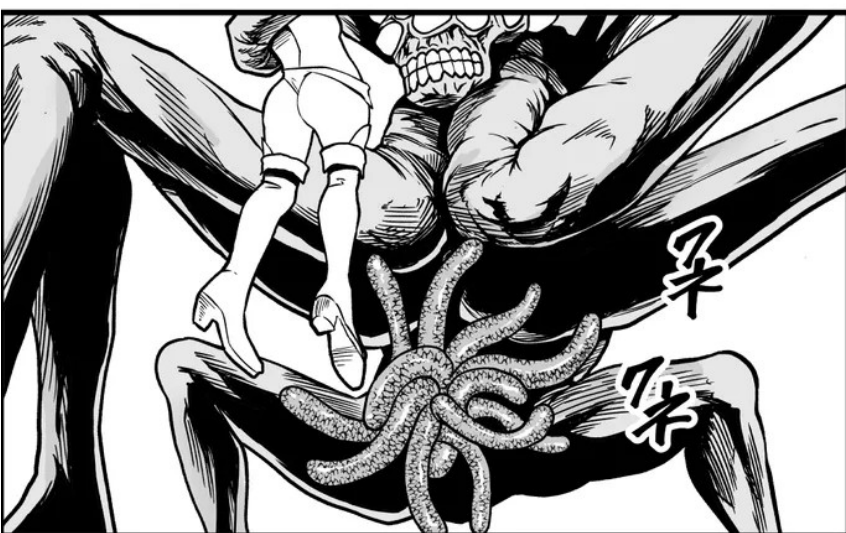
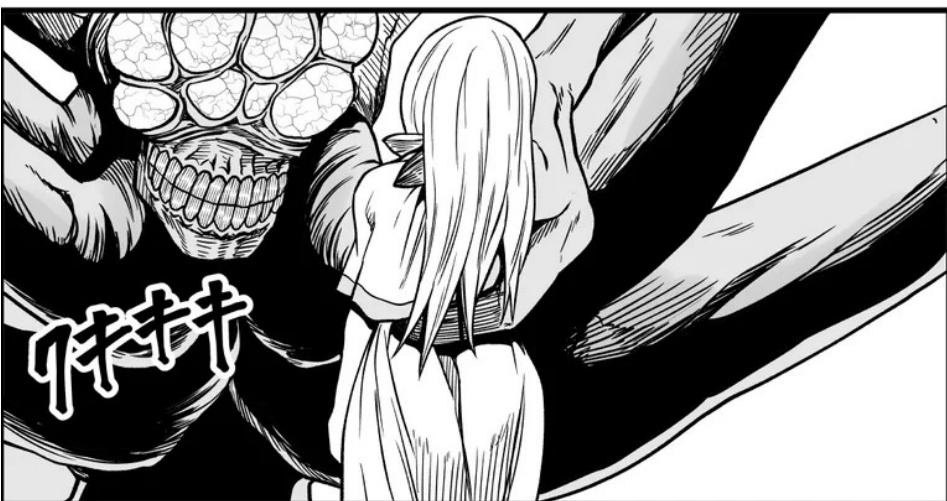
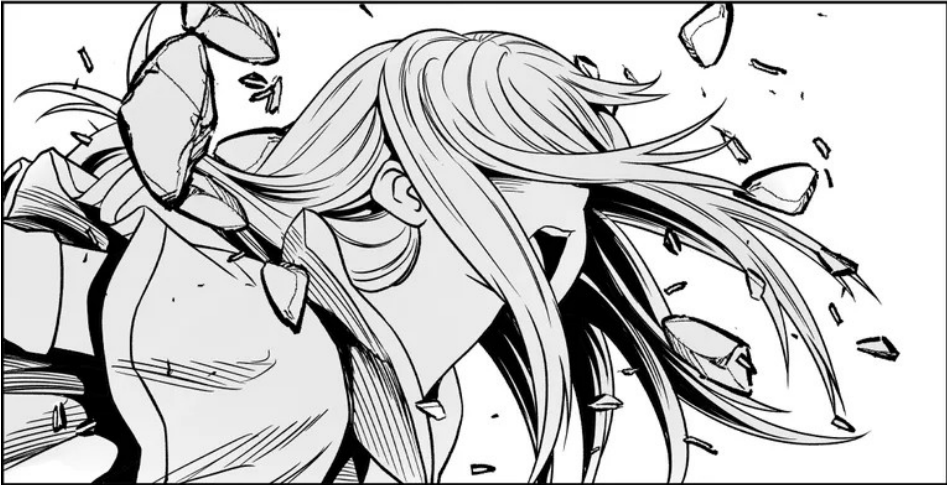


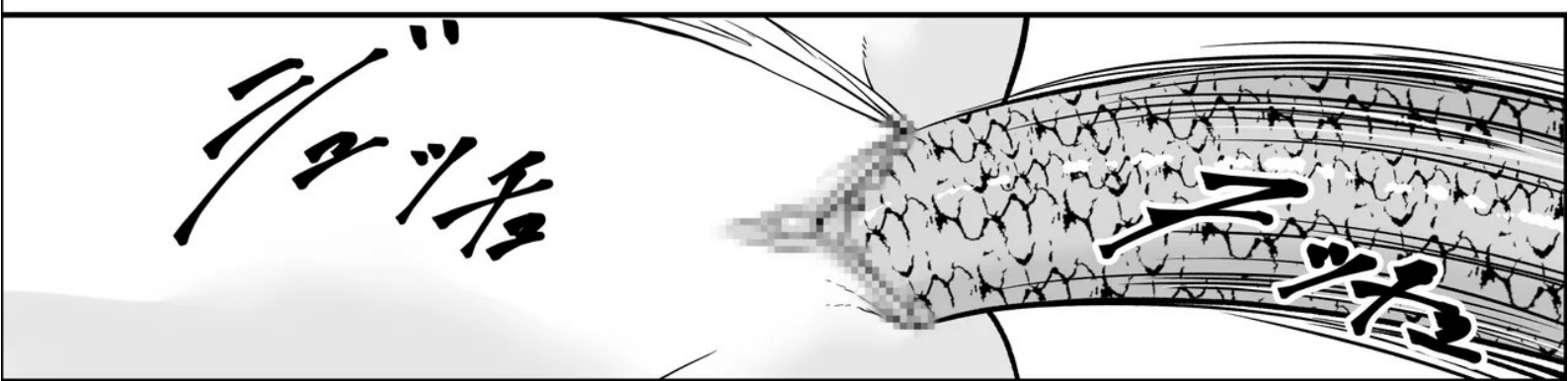
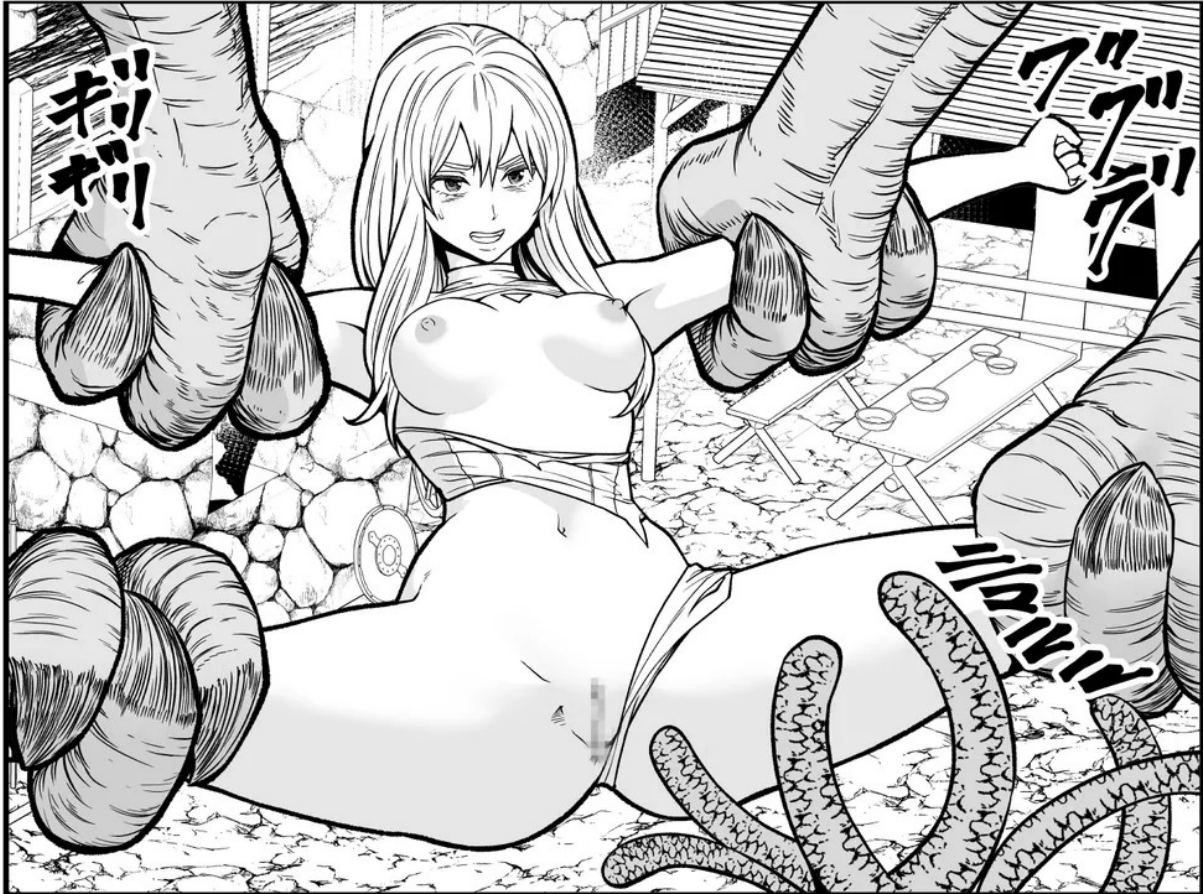
あなただけでも
逃げて!

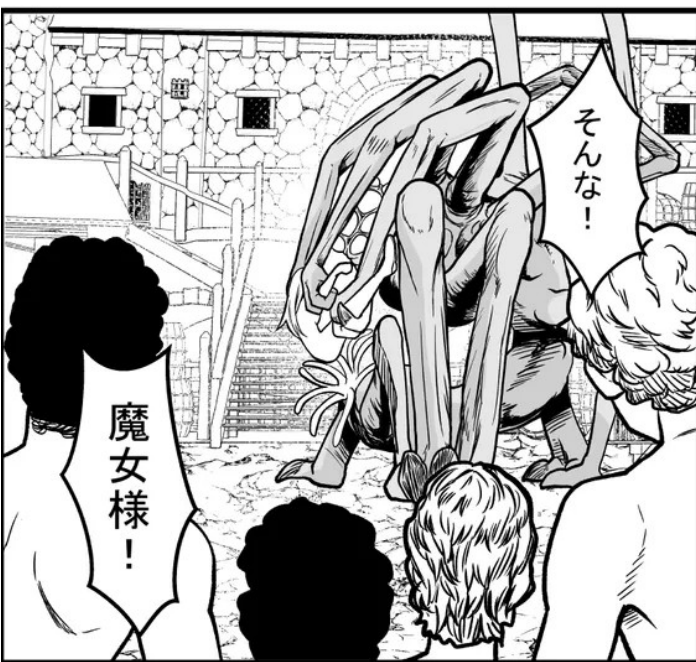
もう
偽りの光を
見せないで!

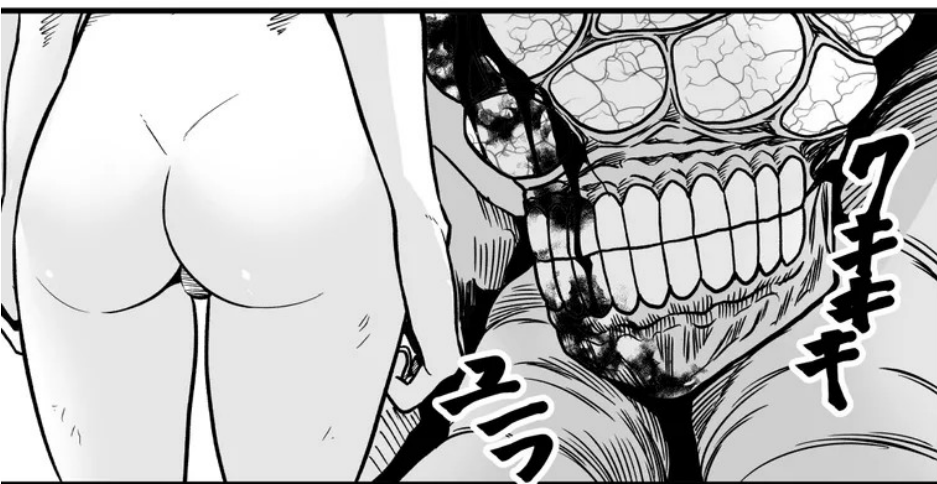
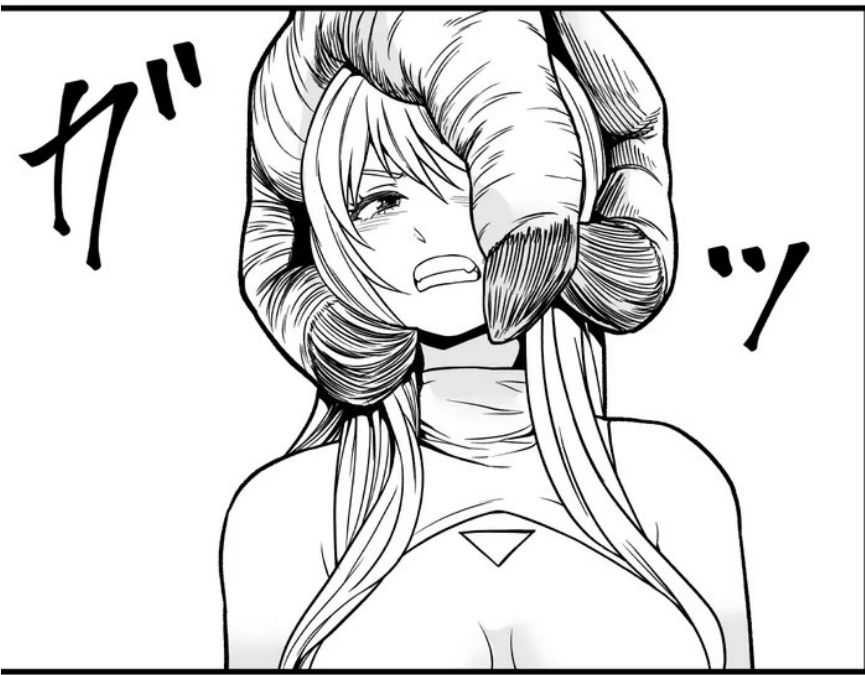
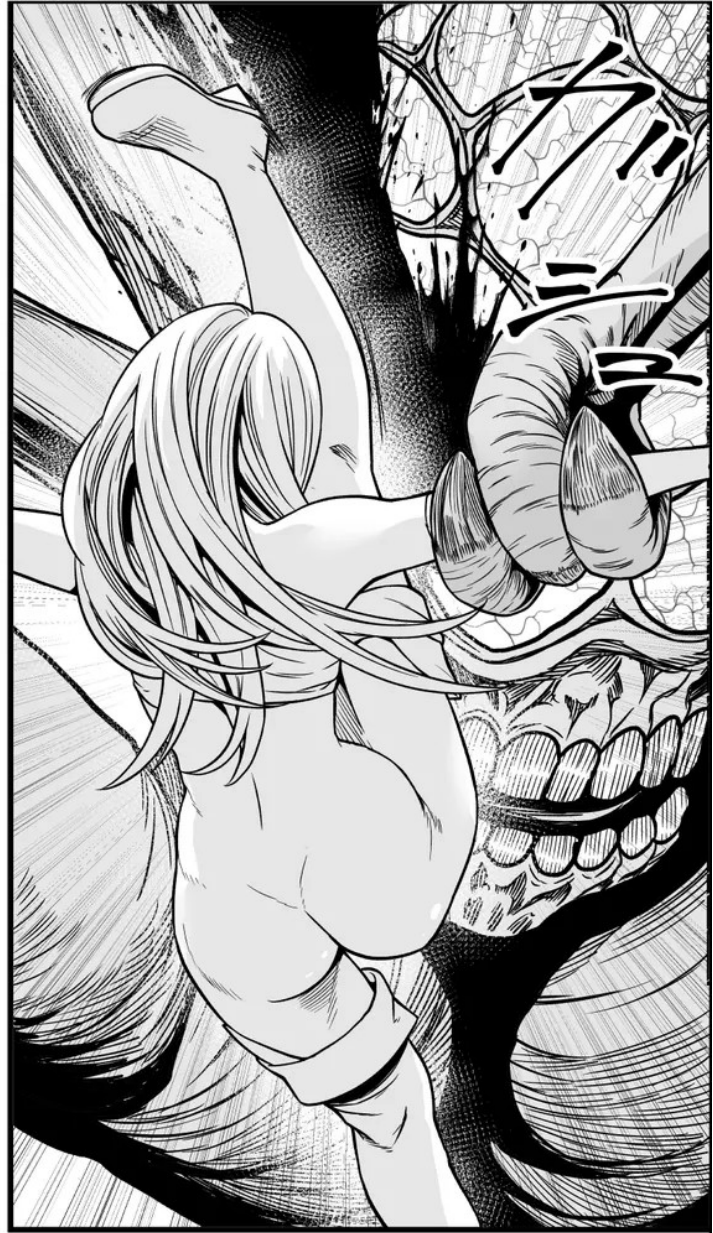
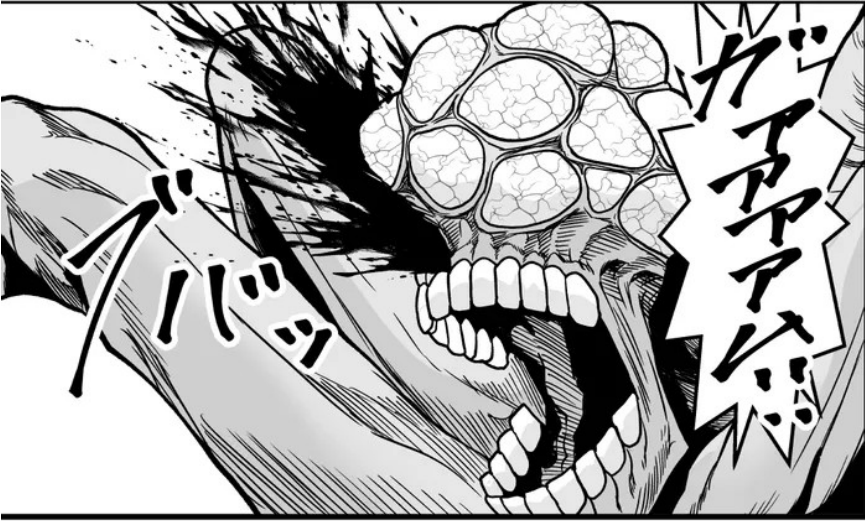


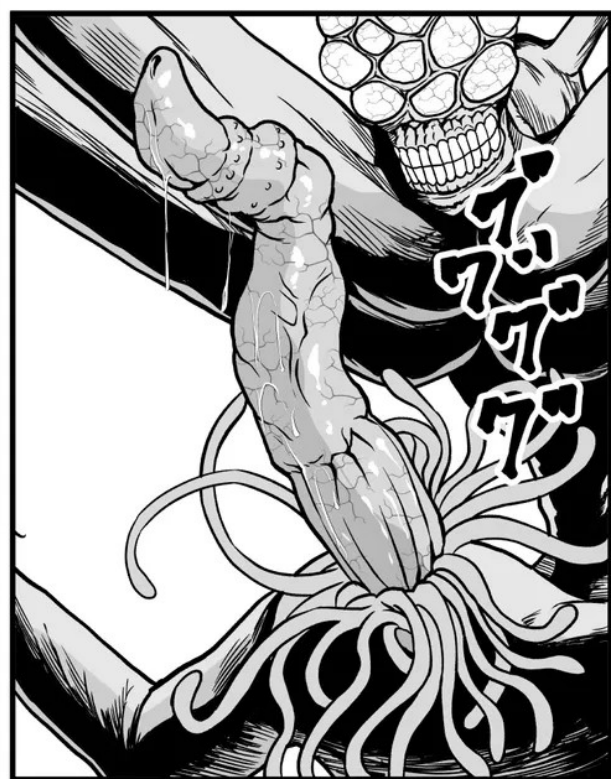
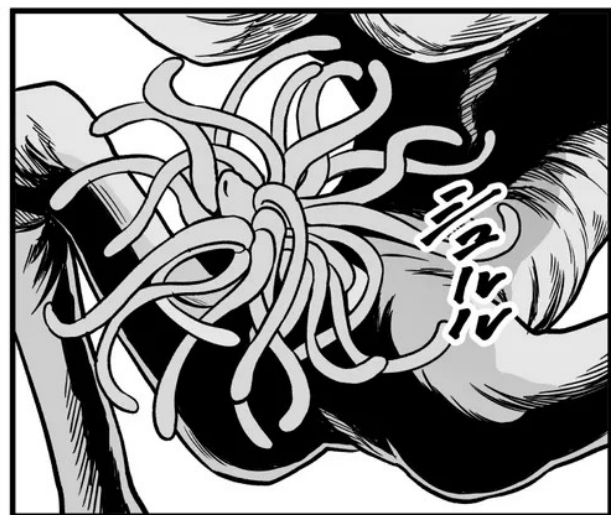
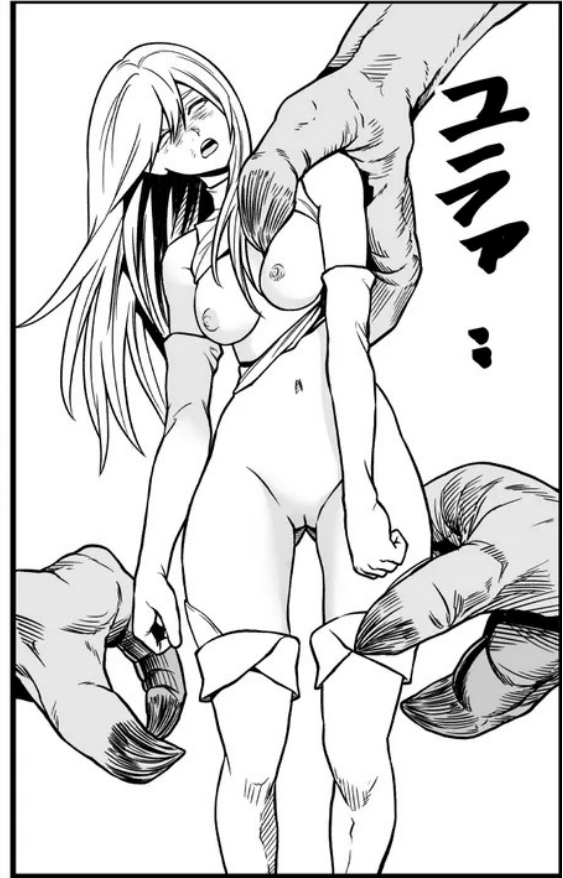
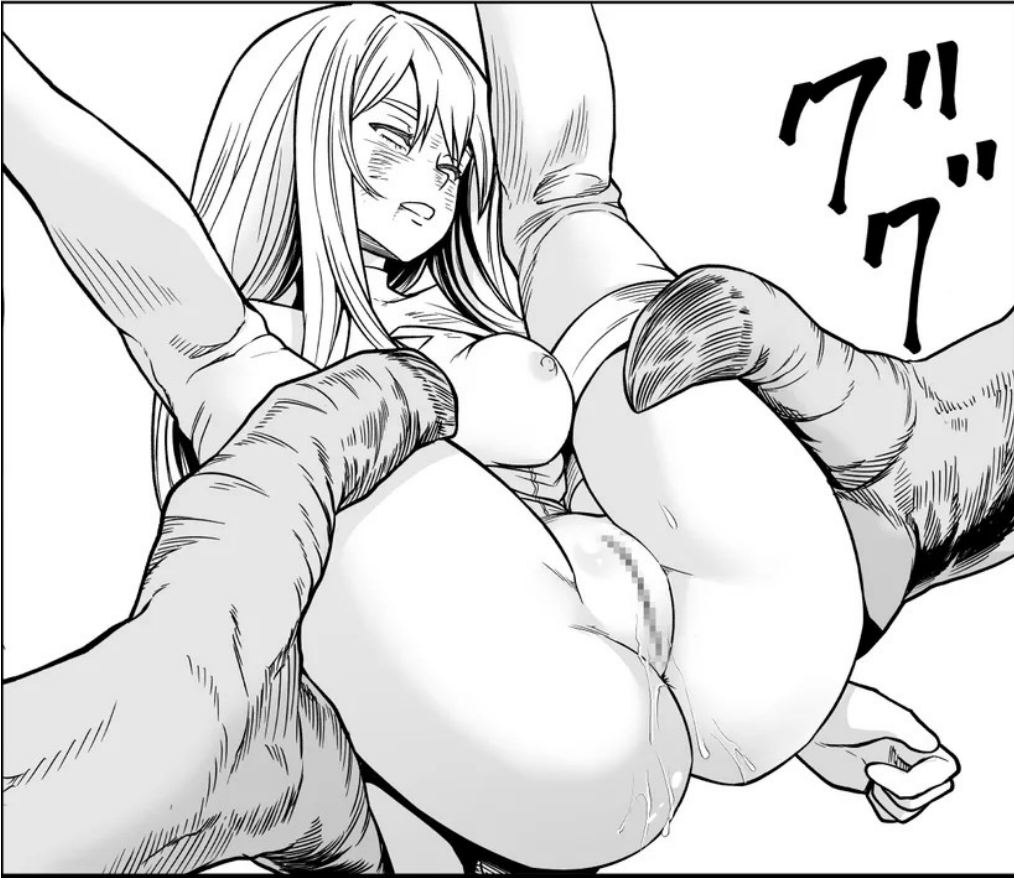
ク
ォー

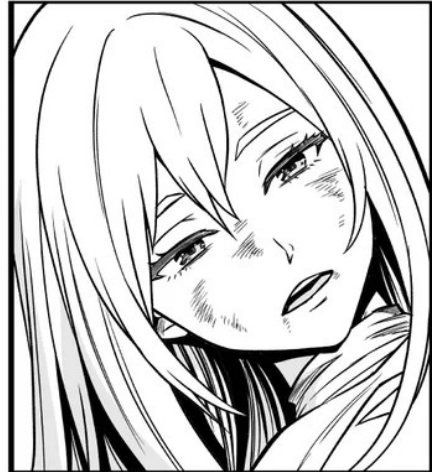


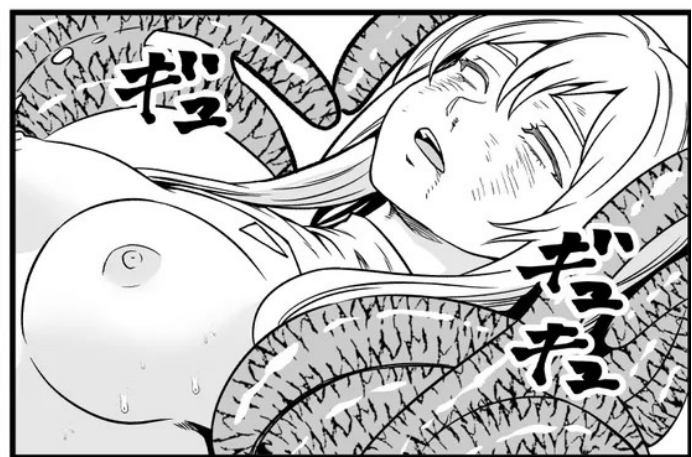
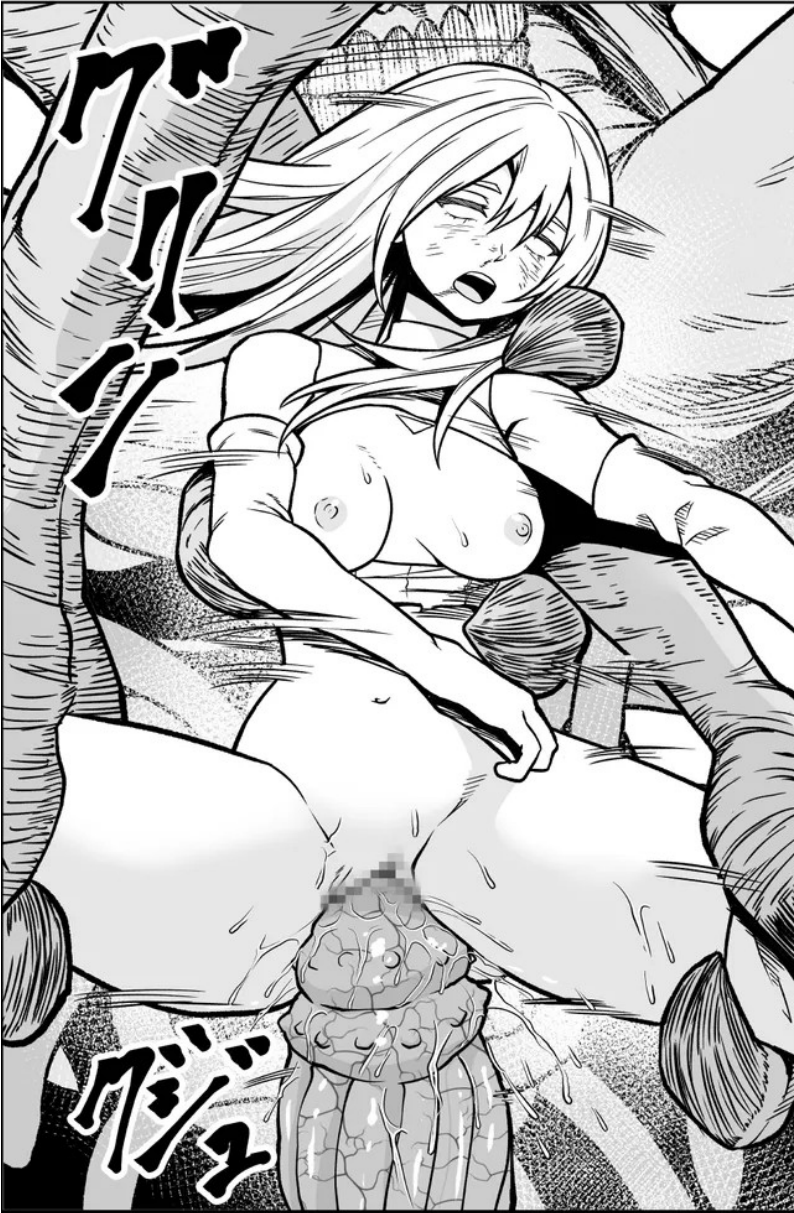




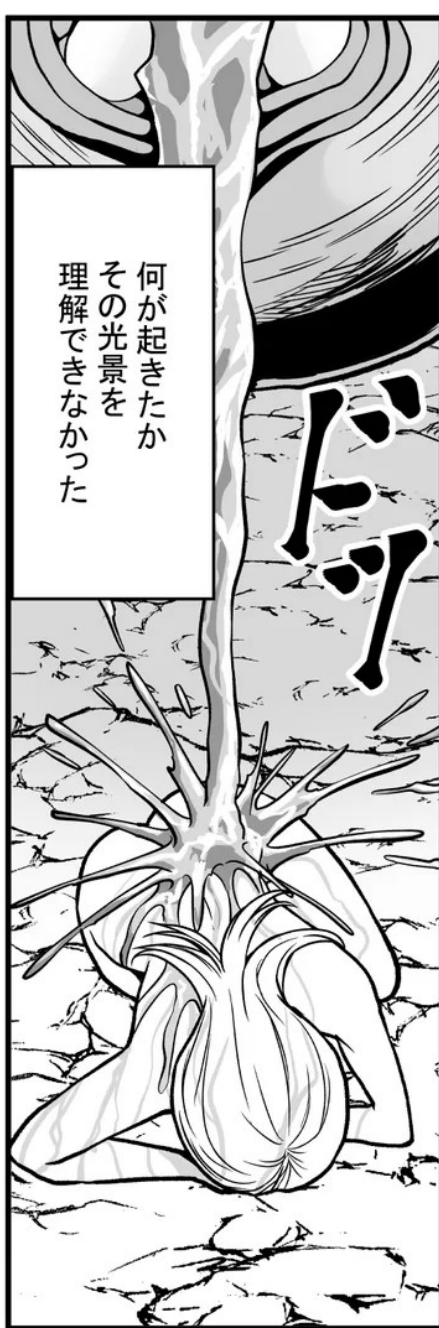




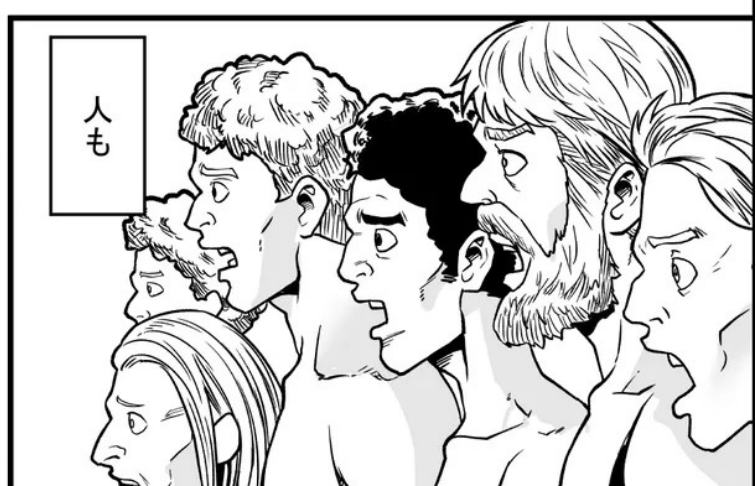




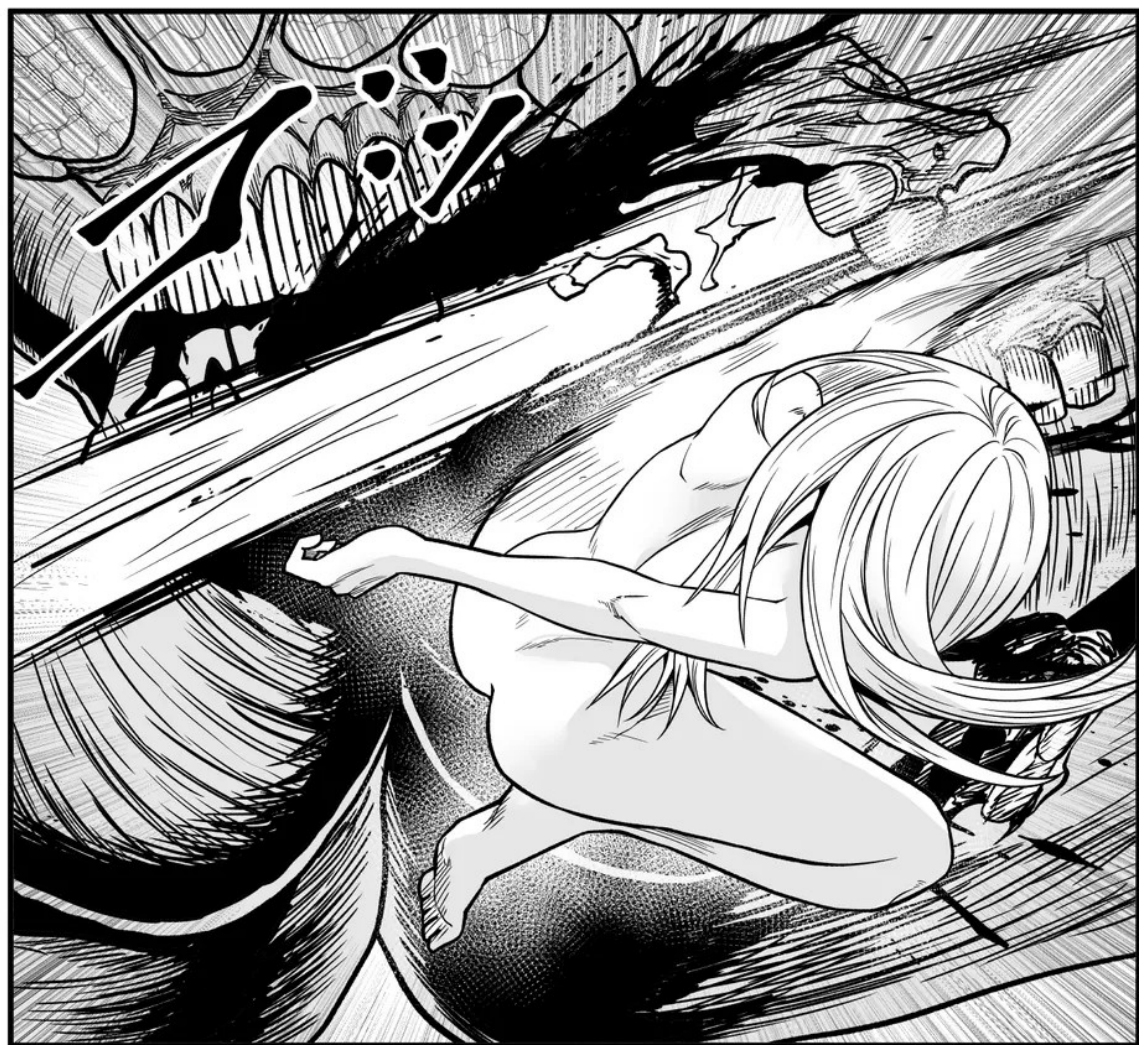
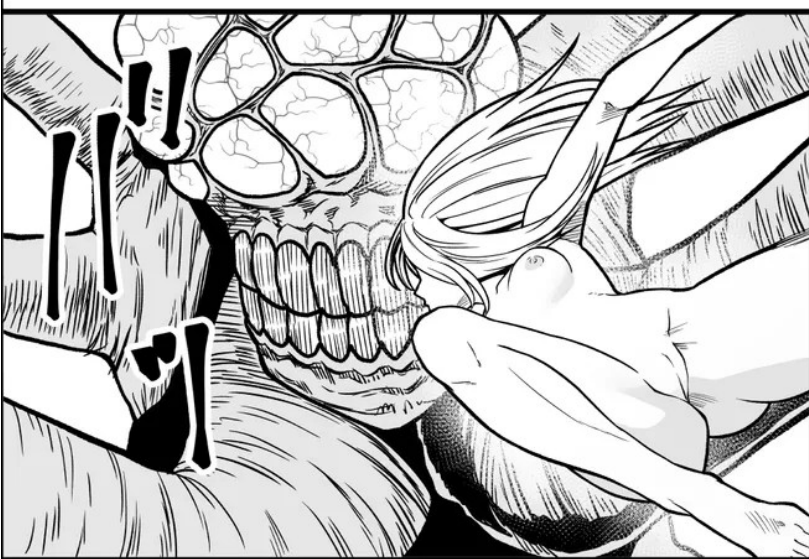
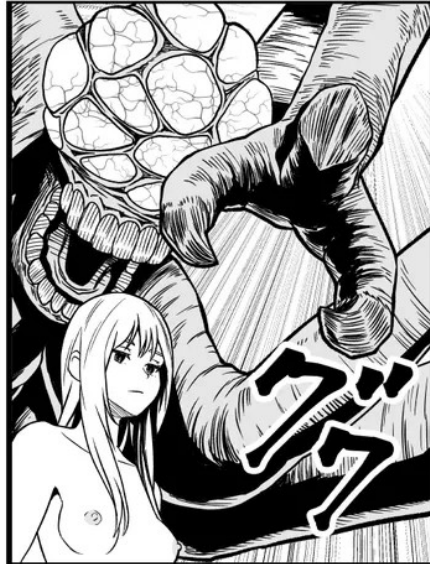
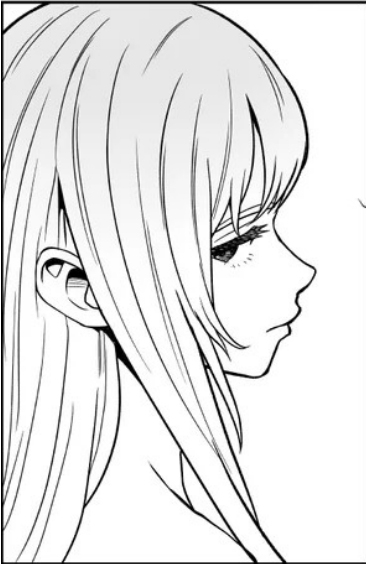




何が起きたか
その光景を
理解できなかった



魔物も

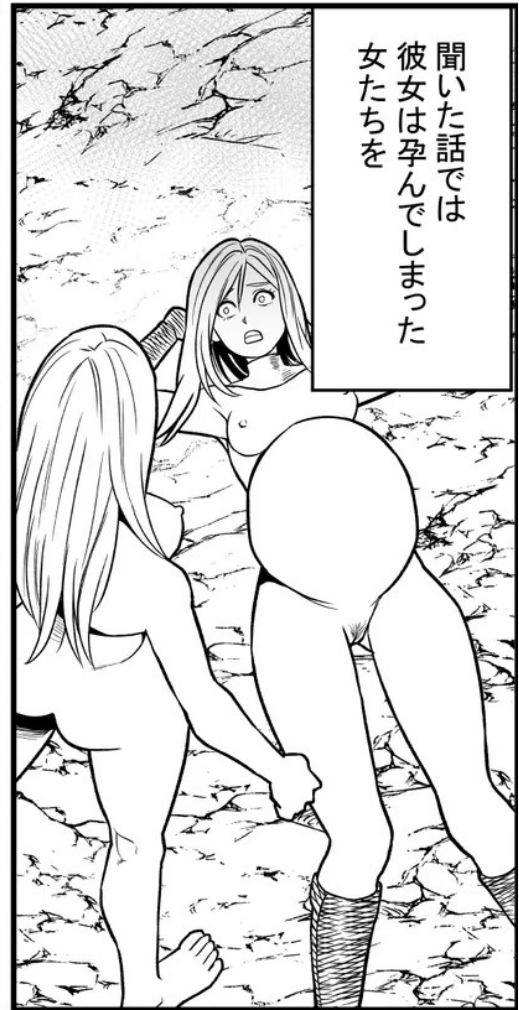






私は安堵から
そのまま倒れ

目が醒めた時……
クロノアは既にいなかった



聞いた話では
彼女は孕んでしまった
女たちを



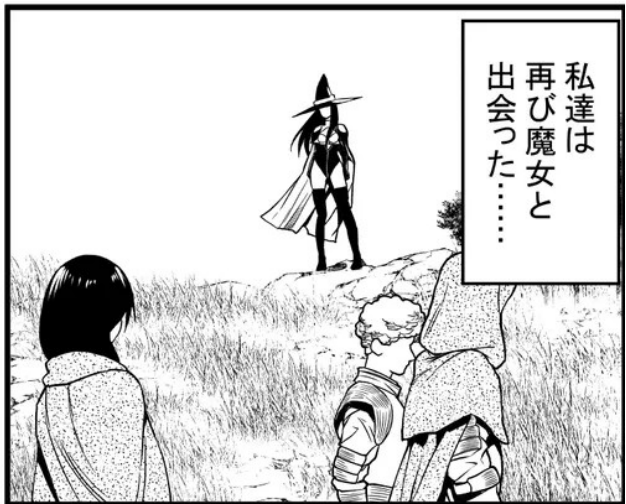
呪法により
墮胎させ



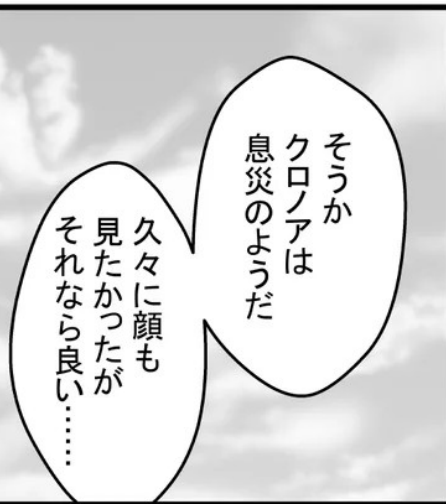
苗床を燃やすと



ただ
「西へ行け」と伝え
去っていったという



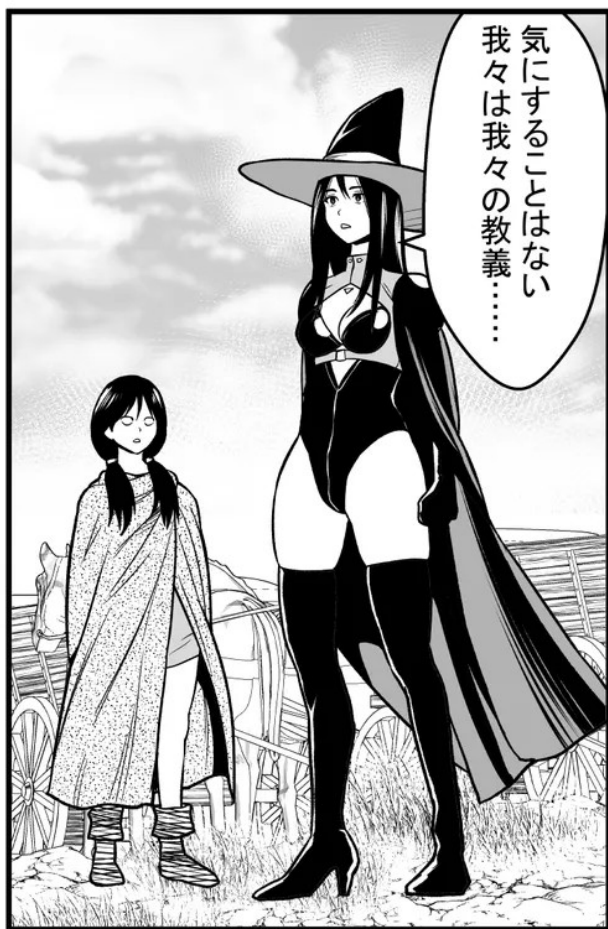
私達は
再び魔女と
出会った……



そうか
クロノアは
息災のようだ

久々に顔も
見たかったが
それなら良い……





魔物は人の娘を
使って繁殖する…

娘を孕ませ
壊し

自分たちの
都合の良い苗床へと作り変える

戦士も騎士も
盗賊もそして聖女も

挑み倒され
孕ませられた

子種を注がれ
人の娘が

神から授かった
その腹の揺り籠に
不浄なるモノを
宿した時…

産まれ出る
魔の眷属は

母親である
人間の特性を
受け継ぐ…



私達魔女は……
それを止めるために
存在する……



それが
魔物の進化だ……



苗床と
された娘たちの才能と
力を継承し
強化され耐性を得る



我らは
女神ソルラナの使徒



魔物を根絶するために
不浄なる精を受け入れる……

この身に授かった
太古の女神の
祝福(のろい)によって



我らは
希望ではない

謂わば
人と魔物の交配の
賜物を食らう病変……



不浄なる輪廻を巡る

創造と破壊の体現...



苗床熾天使